

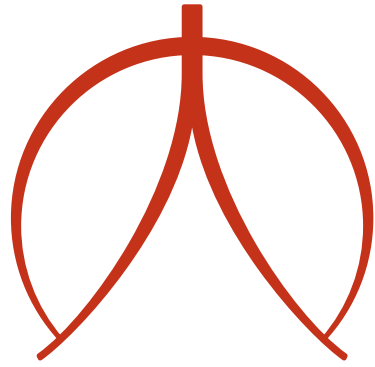
# 大谷大学広報

編集 大谷大学広報編集委員会

No.171

2007年4月2日

2007 春



## 新入生の諸君を迎えて

木村 宣彰

## ようこそ谷大へ

～谷大生活の秘訣おしえます～

## 谷大エリア散策

大垣書店

## 写真でふりかえる大谷大学今昔

尋源館（旧本館）

## 教員研究室一覧表

## SQUARE

マンガ、アニメ、日本文化

阿部 利洋

## 冬扇

京都は碁盤の目のような街並みであり、「ここで道に迷ったらお笑いだね」と学生時代に友人に言われたことがある。卒業後、東京で就職した彼に、私は都心の複雑な街を案内してもらった。

こういう友人がいるのはいいものだ。私はよるこんでいたが、後にいろいろな所を訪れてみると、案内もよしあしであることに気づいた。目的地にまっすぐに辿り着いても、何かを見失った気がする

のである。

私の学生時代、大学はかなり自由で、学生たちもその自由(ほったらかし?)を活用したり乱用したりしながら、今とは違った意味で、少なからず荒れていた。

森の中で道に迷った旅人はじっと立ち止まらずに、こうだと決めた方向に歩まねばならない、というのをデカルトは自分の生活原則にしていたが、それはたとえ望むところに行き着かなくても、決断

して進むことに意味があるからである。

近年、大学は目的地への近道を提示することを手がけてきたが、かえって学生たちは、「自分の道を離れ、そして道を失う」(ニーチェ)ことになるかもしれない。「再チャレンジ」の支援もいいが、何より最初のチャレンジを支援したい、と切に思う。

(朴 一 功)

## 春、志を立てよう

学長 木<sup>き</sup>村<sup>むら</sup>宣<sup>せん</sup>彰<sup>しょう</sup> (教授・仏教学)

春が巡ってきて、櫻の花がいつものように咲いています。今年も本学に全国各地から新入生の皆さんを迎え、大変に心うれしく思います。本学の永い歴史と伝統は、毎年毎年、このように新入生を迎えることによって築かれてきました。そしてまた、今ここに新たな伝統が培われることはとても尊いことです。

これから本学に学ぶ皆さんの大多数が過ごしてきた高校生活と、大学はどのように違うのでしょうか。先ず大学の学びは自立性に富むという点が大きな違いになるでしょう。高校生活では学びのスケジュールが必修科目、つまり時間割として定まっていたましたが、大学では自主的に聴きたい先生の講義を自分自身で選ぶこととなります。本学では大学生としてぜひ修めて欲しい必修の科目を若干は定めています。自らの目標を実現するために、まず各自で科目を選び取り、学んでいくのです。このことが高校までの学びと大学での学びの大きな違いです。

自分の意志で選ぶことができるのはすばらしいのですが、一面では大変なことです。何よりも学ぶことへの強い意志が必要です。また確乎とした目的や目標がなくては自分が学ぶ科目を「選ぶ」ことができないのです。それは自らの生き方の根本に関わるからです。その根本の目的を、本学の初代学長の清沢満之は「完全な立脚地」と呼んでいます。

吾人の世に在るや、必ず一つの完全なる立脚地なかるべからず。もしこれなくして、世に処し、事をなさんとするは、あたかも浮雲の上に立ちて技芸を演ぜんとするものごとく、その転覆を免るるあたわざること言を待たざるなり。  
(『我が信念—清沢満之のことば』  
精神主義 より)

自己の「立脚地」を失うと、厳しい現代の競争社会において自己を見失い転覆してしまいます。競争社会で迷わないために、自らの

目的が明確でなくてはなりません。社会も学校も家庭も、みなが競争心を煽り立てています。個人は互いに競い、企業は企業で互いに競って負けまいとしているのです。全てのものが競い合うことによって向上するというのが、現代社会の常識のようになっていますが、果たして本当にそうなのでしょうか。この市場原理と呼ばれる「常識」では、最後には優れたものが勝ち残ると考えられているようですが、競争して勝ち負けを決するには必ず一つの尺度がなくてはなりません。実は、その尺度が大問題なのです。その尺度が科学的客観的合理的であったとしても、人間には「自分」というものがある限り、自分が納得しなくては不安になり、元気が出ないのです。自分と切り離された客観の「事実」をいくら説明されて頭で理解できても、納得できないのが人間です。

今日、広く吹聴される競争原理は、このような視点を失っているのではないのでしょうか。人に負け



木村宣彰学長

まいとして自らの大切なものを犠牲にして他に抜きん出たとしても、そこには本当の喜びはありません。自分の目的や目標に適うとき、真摯に学びに打ち込むことができ、その学びが喜びになります。自分自身の本当の喜びを達成するには、何よりも自らの明確な意志が大切です。

清沢満之は、若者の学びはパンと名誉のためでなく、自己の信念の確立のためであると教えています。また、皆さんもよく知っているウィリアム・クラークの名言「少年よ、大志を抱け」もまた人として大切なことのために学べと教えているのです。かつては競争に打ち勝って立身出世する意味に理解されていましたが、この有名な言葉はその前段が大切なのです。すなわち「それは金銭に対してでなく、また世人が名声と呼ぶあのむなしなものに対してでもない。人間が、人間として当然身につけるべきすべてのものに対して、少年たちよ、大志を抱け」(『成語大辞苑』(主婦と生活社)

より)と。私たちは、パンや名誉という実利や名利のためでなく、厳しい社会を人間らしく生き抜くために「自己の信念を確立」することが急務なのです。

今日ほど物事の本質を深く考えることが必要とされる時代はありません。私たちは、よく考えることによって物事の呪縛から解放されて自由になるのです。

私たちは、美しい櫻の花をみたとき、それを美しいと感じます。何かの役に立つから美しいと感じるわけではありません。まして損得を考えて感じるのではなく、ただ美しいと感じるのです。青春の貴重な一時期は「何の役に立つのか」「どんな得になるのか」という競争社会の呪縛を離れて、邪気無く、無心に学んで欲しいと心から願っています。知識を学ぶことは人として生きる智慧を身に付けることに他なりません。

## C O N T E N T S

- p. 2…新入生の諸君を迎えて
- p. 4…ようこそ谷大へ  
～谷大生活の秘訣おしえます～
- p. 9…CAMPUS☆TOPICS
- p.19…「学生向け情報提供システム」  
～新サービス案内と利用方法について～
- p.20…国際交流トピックス
- p.22…Keiji☆Ban
- p.30…谷大エリア散策
- p.31…写真でふりかえる大谷大学今昔
- p.32…研究室だより／学会だより
- p.33…大谷中学・大谷高等学校からのお知らせ  
九州大谷短期大学からのお知らせ
- p.34…学生相談室から／出版物紹介
- p.35…TANIDAI FRONT
- p.38…2007年度入学試験 結果
- p.39…教員研究室一覧表
- p.40…SQUARE

### 表紙のことば

桜咲く季節に  
あなたは不安がっている？  
大丈夫!!  
新しい出会いを求めて  
私たちは待っている  
この桜の下で待っている  
君の胸にも希望が咲く

### 冬扇

詳しくは「夏扇冬扇」という。夏の扇や冬の扇のように役にたたぬことの意味に用いる。ここでは役にたつたない次元をこえて一筋の道に生きる精神をあらわす。

2007年4月2日発行  
発行 大谷大学企画室  
編集 大谷大学広報編集委員会  
〒603-8143  
京都市北区小山上総町 大谷大学企画室内  
電話 (075) 411-8115  
FAX (075) 411-8149

# ようこそ谷大へ

## ～ 谷大生活の秘訣おしえます ～

古い話です。聞き流してください。今から20年ほど前、大学入学と同時に一人暮らしを始めることになりました。蛍光灯がぶら下がっているだけの、まだ何もない部屋で最初の一晩を過ごしたとき、不安だか何だか分からないプレッシャーで逃げ出したくなったのを覚えています。でも、新生活も始まってみれば日常生活。まさに「案ずるより産むが易し」でした。

いろんな人にいろんなことを言われるかもしれませんが、まあ、そんなに気張ることもないです。軽やかに大学生活をスタートさせましょう。ようこそ大谷大学へ。



### 今、想うこと

倉井 光弥

私が大学に入学したのはもう5年も前である。記憶の向こうには、期待と不安でパンクしそうな気持ちをどこへ向けたらいいのかわからず、ただ立ち尽くす自分がある。

皆さんは今、大学生活のスタートを切り、やりたい事で胸がいっぱいになっているだろう。サークルに入りたい、アルバイトをしてみたい、資格を取りたい、学問に没頭したい……。皆さんがそれぞれに秘めた思いは全てが正解である。まずは思い切って飛び込んで欲しい。時には失敗することもあるだろう。しかし、それは恥ずかしい事ではない。私も赤面する

ような失敗を様々な場面でしてきたが、今となってはどれもよい経験になっている。失敗は成長に欠かせない栄養である。

また、大学生活を決定付けるもの、それは友人の存在であると私は思う。嬉しいときに笑顔を向ける友人。辛いときに手を差し伸べてくれる友人。そんな素敵な友人をたくさん作って欲しい。今隣にいるまだ名前も知らない人があなたにとって一生の友人となるかも知れない。

私が大学に入学してからもう5年が経った。4年間をともに過ごした友人の多くはもう大学にはい

ない。しかし私は大学院で鮮やかな日々を送っている。新しい友人たちの笑顔を中心に温めながら。

（ くらい こうや  
修士課程 真宗学専攻  
第2学年 ）



ともに学んだ友人たちと／卒業式にて  
(筆者は後列右から2番目)



## 今がチャンス

東江 春奈



私は現在、旅行会社で添乗員のアルバイトをしている。旅行業に興味を持ち始めたのは、小学校の修学旅行で添乗員のお姉さんに憧れたことがきっかけであった。その頃から旅行会社で働くことを目標としてきた。

チャンスが巡り、第2学年の春



ツアーの添乗にて

より旅行会社で添乗員になることができた。旅程管理業務主任者の資格も取得し、昨年は50回程のツアーに添乗することができた。

添乗員を始めた頃は、ひとりで50人ものお客様のツアーを仕切ることには緊張と不安で一杯であった。しかしお客様から「楽しかったよ」と笑顔で声をかけていただくと、やっけて良かったなと心から思うことができた。

大谷大学にはインターンシップ制度がある。在学中に企業で就業体験ができる素晴らしい制度であり、私は第2学年の夏休みを利用して旅行会社の東武トラベルへ行かせていただいた。ツアープラン企画は魅力的な作業であるが、同時に万人の心をつかむツアーを考えることは難しいと感じた。JAL商品説明会へ参加した時は、新し

く企画された旅行プランの説明を受け、旅行を売る立場として話を聞くことができた。その中で旅行という目に見えない商品を販売する難しさを学んだ。私は普段、添乗という最終段階でのみ旅行業界に携わっていたので、いつもの添乗では体験できない現場を見ることができ、とても感激した。憧れの旅行会社での就業体験は私にとって貴重な経験となった。

新入生のみなさんもぜひ何か自分が本当にやりたいことを見つけ取り組んで欲しい。好きなこと、やりたいことを自由にできるのは大学生になった今がチャンス。そして最後に、大谷大学に来て良かったなと思える充実感のある学生生活を過ごしてください。

(とうえ はるな)  
哲学科 第3学年



## 枝垂桜の下でご飯を

Adam A. Catt

修士課程の前に1年間研究生として在籍していたため、谷大での生活は、もう3年になる。長いような短いような感じがする。その3年間で、私が変わったかどうかは分からないが、大学で経験したことはタメになったと思う。新入生にアドバイスというより、私にとっての楽しい学生ライフのエピソードを挙げよう。

「食堂の前にある枝垂桜の下でご飯を」。これは「ティファニーで朝食を」に聞こえるかもしれないけれど、私は入学したばかりの頃、よくあの桜の木の下で昼ごはんを食べた。お勧め。

「授業の合間にジャグリングとフットバッグ」。ずっと座っていると頭が鈍くなるので、適度に運動するのがよい。ただ、私は「走



クラシックギター演奏中

る」系のスポーツが苦手だから、立ってできるスポーツが好き。

「学生食堂(今はBig Valley Cafeでパンを販売)の紅茶味のメロンパン」。前はよく食べていた。まだあるかな？

「論文の中間発表」。あの緊迫し

た空気の中で自分の意見を述べるのが楽しかった。批評を受けるとさらに楽しい！

「大学でのギター演奏会」。反則かもしれないけど、誰もいない教室でひそかにギターをよく弾いていた。でも、やっぱり人前で演奏

する緊張感がいいね。

「サンスクリットの勉強」。私を含めて、サンスクリットが好きな人は変わっている人が多いなあと実感。

( アダム A. キャット  
博士後期課程 仏教学専攻  
第1学年 )



## 窓口で待ってます。

兵頭 祥典

私は昨年4月から大谷大学の学生課で働き始め、今年1月から窓口業務を担当している。こんな経験の浅い私が新生に向けてメッセージを送るといってもおかしな話かもしれないが、自分なりに感じた窓口の利用の仕方を伝えたい。

大学生活は、これまでの学校生活とは違い、自由であるが故に、自分の責任で行動しなければならないことが多くなる。その中には、自分一人で解決できないことがらもでてくるだろう。そんな時は一人で悩まず、窓口を利用してほしい。

窓口を利用する際に最も重要なことは、自分自身が何を必要としているかを正しく伝えることである。自分がどういった状況で、何について聞きたいかがはっきりしていると、適切なアドバイスが得られやすい。

最初は窓口に来ることにためらいを感じるかもしれない。しかし窓口にいる私たちは、皆さんが充実した学生生活を送るためにサポートする職員であると同時に、いつでも一番身近に接することができる先輩でもある。そんな先輩として学生に頼られる職員になること、また利用しやすい窓口を目指

し今日も働いている。分からないこと、不安に感じる事があればいつでも窓口へどうぞ。

( ひょうどう よしのり )  
学生課 職員



学生課窓口にて



## 寮生活から学んだこと

邑 琴子

私は入学時に大学の自灯学寮に入寮しました。最初は気が進まず、ひとり暮らしをしたかったのですが、親に入寮を勧められ寮生活をする事になりました。

寮生活から、ひとり暮らしでは味わえないたくさんのことを学ぶ

ことができました。寮に入ってすぐの頃は、これから自分は寮での生活にうまく馴染めるか、とても不安でホームシックにかかり大変でした。そんな私が寮生活を送ることができたのは14人の仲間のおかげでした。いつも近くで支えて

くれる仲間がいたからこそ、私は寮生活を楽しく頑張ることができました。時には、寮生間のことで悩んだりもしましたが、私にとって寮生活は自分が成長するための良い機会であったと思います。

私は寮に入って、自分のことは

全て自分で責任を取らなければならないということを知り、家族の大切さを改めて実感しました。家にいた時は母が身の回りのことをしてくれていたのは寮に入るまで自分のことは自分ですることの大変さが分かりませんでした。

寮は1年間しか入ることができません。慣れ親しんだ寮を出て、私は4月からひとり暮らしを始めます。寮で学んだ経験や、全て自分の責任だということを念頭にこ

れからの学生生活を頑張っていきたいと思います。

寮に入ったことでたくさんの仲間に出会うことができ、自分自身成長できたのでとても充実した1年間を過ごすことができました。

寮生活は私にとって一生忘れない思い出となるでしょう。

(むら ことこ  
仏教科 第2学年)



自灯学寮講堂にて  
(筆者は右から2番目)



## 「総合研究室」ってなに？

—とにかく「来てみる・慣れてみる」—

小澤 千晶

大谷大学には響流館<sup>こびりかた</sup>という普通には読めない名前の建物がある。そして、その3階に「総合研究室」なるものがある。何をやる場所か。答えは簡単、「研究」をする場所。では、図書館とも自習室とも違う、「研究」をする場所である研究室とは何か…。そのような疑問をもった人はぜひ研究室に足を向けてもらいたい。

といっても、特に目新しいことがあるわけではない。学生も院生も助教も、辞書をひき、文献を読み、資料を整理してPCとにらめっこをしている…。どれも地味な作業ばかり。でも、その地味な姿をしばらく我慢して観察し続けてくれたら、図書館や自習室とは違う光景が見えてくるはずだ。円卓では勉強会をしている。なんだかやたらと熱く語り合っている人がいる。机の上に山のように本や資料を積みその中で嬉しそうに勉強しているetc.…。地味で味気なさそうな作業をなぜか楽しそうにこ

なしている姿がある。あるいは、論文の締め切り間際で常軌を逸した院生や助教を見かけることもあるかもしれないが…。

新入生に「研究」って何かと聞かれても、伝わる言葉で明確に語れる自信がない。だから、とにかく来てその姿を見てくれとしかいいようがない。その「姿」の集まっている場所が研究室なのだ。つまり、つまらなそうな勉強を嬉しそうに悪戦苦闘している姿を見てもらって何かを感じてもらえたら、研究室を理解する最初の一步を踏み出したことになる。

また、研究室の特徴は、私たち助教や院生がおせっかいにも後輩たちの面倒をみたいと待ち構えているということである。なぜか大谷にはお人よしが多い上に、自分たちの研究が楽しくってしょうがないから、後輩たちにその楽しさを伝えたいと、てぐすねをひいている。研究室とはそういうところなのだ。ともかく、学生生活のな

かで、研究室を活動拠点のひとつにしてもらえたら何よりも嬉しい。

(おざわ ちあき  
任期制助教 仏教学)



総合研究室での様子



## クラブ活動のススメ

日高 健大

入学から2年が経つが、私はクラブに入っていて本当によかったと実感している。入学前はサークルやクラブ活動などには参加しないと考えていた私だが、チラシや舞台でのクラブ紹介を見て興味があわき、放送局の扉を叩いた。クラブというものを中学や高校などの部活動の延長線上で考えていたのだが、実際に見てみるとその“レベル”の高さに驚かされた。アナウンスの技術や機材の仕様などが、私が考えていたものよりもずっと本格的だったのである。また全ての活動は自分達で決定していくなど、自己決定と自己責任とい

う大学生としての姿があったのである。私は迷わず放送局に入局した。

普段は昼や夕方に学内へ曲を流したりするのだが、学園祭になると学外から多数のゲストを招いたパフォーマンスイベントを企画したり、また学内外を問わず音響や司会の依頼を受けたりもする。昨年度は「京滋短大フェスタ」にて2日目の司会、そして一部の舞台裏の運営を任されたりもした。このような経験は自分自身にとってプラスになり、また人との繋がりも大きく広がるため、とても勉強になるのである。

大学においてクラブに所属するということは、大きな経験になるとともに、充実した生活を送れることにも繋がる。私はクラブに入る事を是非ススメたい。

( ひだか けんた )  
( 社会学科 第3学年 )



声の調整をしているところ



## 「私も知りたい！秘訣を」

山下 憲昭

ご入学、おめでとう。大谷大学で学生生活を送るにあたって、どのような秘訣があるのか。これはなかなか難しい問題である。何にもしなくても時間は過ぎていく。遊び呆けても月日は流れる。アルバイトに明け暮れたら、それはそれで役割期待があるように思い違いをしてしまう。

卒業を控えた時期、第4学年の学生が決まってしまう言葉がある。「4年間、あつという間だった」「もう少し勉強しておけば良かった」と。私はこのような言葉を聞いて、顔を横向けてニンマリする

のである。少し嬉しい。この言葉は彼らの後悔ではなく、それなりに充実した学生生活を送ったからだと思うからである。どんなことに取り組みたいのかが意識されているからである。

本学はコンパクトな大学である。学生一人ひとりの顔がしっかり見える。たぶん、私の方も見られている。人と人との互いに関心を持ち合って、場合によっては支え合っていく。そういう社会的存在としての自分を見つめるにはきわめて良好な環境であると思う。「適当」ということは、本当は難

しいことだ。でも、周りの学生を巻きこんで、テキトーにがんばってみたら、充実した学生生活に一歩近づけるかも知れない。

( やました のりあき )  
( 教授 社会福祉学 )



ゼミ発表の相談中



## 人 事

### 部局長の交代

[学生部長]  
佐賀枝 夏文  
(前学生部長 一楽 真)  
2007年3月31日付

### 館長などの交代

[真宗総合研究所主事]  
廣瀬 幸市  
(前真宗総合研究所主事 浅見 直一郎)  
[学寮長]  
東館 紹見  
(前学寮長 織田 顕祐)  
2007年4月1日付 (各通)

### 退職・解任

**定年退職**  
[教育職員]  
鈴木 幹雄 (教授・文学部)  
若槻 俊秀 (教授・文学部)  
荒牧 典俊 (特別任用教授・文学部)  
小野 蓮明 (特別任用教授・文学部)  
蜂屋 良彦 (特別任用教授・文学部)  
**契約期間満了による退職**  
[任期制講師]  
田村 晃徳 (文学部)  
[任期制助手]  
川端 泰幸 廣川 智貴  
藤田 直子 藤元 雅文  
本井 牧子 義盛 幸規  
若見 理江  
[事務系嘱託]  
浅井 恵 (教育研究支援部)  
安藤 亜津子 (総務部)  
飯塚 恵子 (教育研究支援部)  
大垣 磨己子 (学生支援部)  
柏 淳子 (教育研究支援部)  
久保 法子 (教育研究支援部)  
清水 美穂 (教育研究支援部)  
武邑 知子 (教育研究支援部)  
中井 晴恵 (教育研究支援部)  
永井 詞子 (教育研究支援部)  
濱口 映子 (教育研究支援部)  
福岡 真美 (学生支援部)  
堀田 香代子 (総務部)

前田 真代 (教務部)  
松村 瑛子 (学生支援部)  
山崎 悠子 (企画室)  
山下 智美 (校友センター)  
要田 有希 (学生支援部)  
[寮監]  
青木 玲 (貫練学寮)  
2007年3月31日付 (各通)  
**依願退職**  
[教育職員]  
禿 憲仁 (教授・文学部)  
[任期制助手]  
三浦 誉史加  
[事務職員]  
広原 正信 (教務部)  
2007年3月31日付 (各通)

### 新規採用

[教育職員]  
國中 治 (教授・文学部)  
西本 祐攝 (助教・短期大学部)  
廣川 智貴 (講師・文学部)  
藤谷 昌紀 (講師・文学部)  
藤元 雅文 (講師・文学部)  
古屋 哲 (任期制講師・文学部)  
[客員教授]  
櫻井 敏雄 寺川 俊昭  
[任期制助教]  
安藤 義浩 大野 僚  
加藤 基樹 佐々木 茂人  
佐藤 愛弓 富岡 量秀  
人見 牧生 福田 恵  
源 真帆  
[事務職員]  
内堀 陽子 (総務部)  
[事務系嘱託]  
臼井 理恵 (総務部)  
榎川 みのり (教育研究支援部)  
川勝 直子 (教育研究支援部)  
近藤 聡子 (学生支援部)  
酒井 絵理 (教務部)  
坂田 恵美 (学生支援部)  
佐々木 晃子 (企画室)  
佐々木 玲加 (教育研究支援部)  
佐藤 雅子 (教育研究支援部)  
佐野 千恵 (学生支援部)  
清野 暁子 (企画室)

徳正 絢子 (学生支援部)  
戸田 佳世 (総務部)  
中出 美保 (校友センター)  
深澤 淳子 (教務部)  
森本 早保 (教育研究支援部)  
[寮監]  
花園 一実 (貫練学寮)  
[学生相談員]  
神田 敬子  
[キャリアアドバイザー]  
早川 徹  
[学生募集アドバイザー]  
佐々木 かな子  
2007年4月1日付 (各通)

### 昇 格

[教授]  
織田 顕祐 (文学部)  
加治 洋一 (短期大学部)  
番場 寛 (短期大学部)  
宮崎 健司 (文学部)  
村松 法文 (文学部)  
安井 喜行 (文学部)  
山下 憲昭 (文学部)  
[准教授]  
井上 摩紀 (短期大学部)  
[講師]  
山田 恵文 (短期大学部)  
2007年4月1日付 (各通)

2007年4月より法令改正に伴い、助教授は准教授に、助手は助教に変更となります。

### 配置転換など

**配置転換**  
[実習助手]→[大谷幼稚園教諭]  
竹田 ひとみ  
**職種変更**  
[実習助手]→[事務職員]  
大塚 政子 (教務部)  
山本 真理 (教務部)  
2007年4月1日付 (各通)

## 新任教職員の紹介

①略歴 ②専門分野(所属)



教授  
(文学部)  
國中 治  
(くになか おさむ)

①1985年3月早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。1994年3月東京都立大学大学院人文科学研究科(国文学専攻)博士課程満期退学。元韓国大田実業専門大学専任講師(日本語事情)。元帝京大学留学生別科非常勤講師。元帝京大学冲永国際教育研究所非常勤研究員。元神奈川大学外国語学部非常勤講師。元大阪教育大学教養学科非常勤講師。元神戸松蔭女子学院大学文学部国文学科助教授。前神戸松蔭女子学院大学文学部総合文芸学科教授。

②国文学



講師  
(文学部)  
廣川 智貴  
(ひろかわ ともき)

①1997年3月大谷大学文学部文学科卒業。2001年4月ドイツ・ハイデルベルク大学留学(2003年3月まで)。2002年3月京都大学大学院文学研究科博士後期課程文献文化学専攻(ドイツ語学ドイツ文学)専修研究指導認定退学。2005年3月博士(文学)(京都大学)。前京都府立医科大学非常勤講師。前京都光華女子大学非常勤講師。前大谷大学任期制助手。

②ドイツ文学



講師  
(文学部)  
藤谷 昌紀  
(ふじたに まさのり)

①1989年3月大谷大学文学部仏教学科卒業。2003年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻満期退学。2006年3月博士(文学)(大谷大学)。元門司税関事務官。元大蔵省大臣官房会計課事務官。元大谷大学任期制助手。前大谷大学非常勤講師。

②仏教学



講師  
(文学部)  
藤元 雅文  
(ふじもと まさみ)

①1996年3月東北大学文学部哲学科卒業。2005年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻満期退学。2007年3月博士(文学)(大谷大学)。前大谷大学任期制助手。

②真宗学



任期制講師  
(文学部)  
古屋 哲  
(ふるや さとる)

①1986年京都大学理学部生物系卒業。2004年立命館大学国際関係研究科博士課程前期課程多文化共生専攻修了。元デザインオフィス・エーアイ 博物館・展示プランナー勤務。元「すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク(RINK)」事務局長。元四国学院大学非常勤講師。元徳島大学非常勤講師。前大谷大学非常勤講師。

②国際文化論  
社会学・文化人類学



助教  
(短期大学部)  
西本 祐攝  
(にしもと ゆうせつ)

①1999年3月大谷大学文学部真宗学科卒業。2004年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻満期退学。元大谷大学真宗総合研究所清沢満之研究班研究補助員。元大谷大学任期制助手。元大谷大学真宗総合研究所大学史研究班嘱託研究員。前大谷大学非常勤講師。

②真宗学



任期制助教  
安藤 義浩  
(あんどう よしひろ)

①1995年3月東京大学工学部化学生命工学科卒業。2001年3月東京大学大学院工学系研究科博士後期課程化学生命工学専攻満期退学。2007年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻満期退学。2001年6月博士(工学)(東京大学)。

②真宗学



任期制助教  
大野 僚  
(おの りょう)

①2002年3月大谷大学文学部社会学科卒業。2007年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程哲学専攻満期退学。

②教育学



任期制助教  
加藤 基樹  
(かとう もとき)

①1999年3月大谷大学文学部史学科卒業。2004年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教文化専攻満期退学。2005年3月博士(文学)(大谷大学)。元大谷大学真宗総合研究所和漢文献研究班研究補助員。元大谷大学真宗総合研究所真宗学事研究班真宗学事史研究補助員。前大谷大学真宗総合研究所大学史研究研究補助員。前愛知川町史(近世史部会)執筆委員。

②国史学



①略歴 ②専門分野(所属)



任期制助教  
佐々木 茂人  
(ささき しげひと)

①1998年3月島根大学法文学部文学専攻卒業。2004年3月京都大学大学院文学研究科博士後期課程文献文化学専攻(ドイツ語学ドイツ文学)修了。2004年3月博士(文学)(京都大学)。前京都光華女子大学非常勤講師。前舞鶴高等工業専門学校非常勤講師。前同志社大学嘱託講師。前龍谷大学非常勤講師。前大谷大学非常勤講師。  
②ドイツ文学



任期制助教  
佐藤 愛弓  
(さとう あゆみ)

①1993年3月同志社女子大学学芸学部日本語日本文学科卒業。2001年3月名古屋大学大学院文学研究科博士後期課程(国語学国文学専攻)修了。2001年3月博士(文学)(名古屋大学)。元愛知医科大学非常勤講師。元愛知教育大学非常勤講師。元豊橋技術科学大学非常勤講師。元京都精華大学非常勤講師。元名古屋大学文学部COE研究員。前同志社女子大学非常勤講師。前大阪大谷大学非常勤講師。前日本学術振興会特別研究員(PD)。  
②国文学



任期制助教  
富岡 量秀  
(とみおか りょうしゅう)

①1989年3月日本大学理工学部海洋建築工学科卒業。2006年3月聖和大学大学院教育学研究科博士前期課程幼児教育学専攻修了。2007年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程真宗学専攻満期退学。元株式会社フジタ社員。元大谷大学真宗総合研究所清沢満之研究班研究補助員。元聖和大学嘱託助手。  
②真宗学・真宗保育学



任期制助教  
人見 牧生  
(ひとみ まきお)

①2001年3月大谷大学文学部仏教学科卒業。2007年3月大谷大学大学院文学研究科博士後期課程仏教学専攻満期退学。前大谷大学真宗総合研究所西藏文献研究班研究補助員。  
②仏教学



任期制助教  
福田 恵  
(ふくだ さとし)

①1998年3月大阪教育大学教養学科卒業。2004年9月神戸大学大学院文化学研究科博士課程社会文化専攻修了。2004年9月博士(学術)(神戸大学)。元専門学校大阪医専非常勤講師。元兵庫県立大学非常勤講師。元藤森看護専門学校非常勤講師。元兵庫県立総合衛生学院非常勤講師。元姫路医療センター附属看護学校非常勤講師。前佛教大学非常勤講師。前龍谷大学非常勤講師。前兵庫教育大学非常勤講師。  
②社会学




任期制助教  
源 真帆  
(みなもと まほ)

①1995年3月聖心女子大学文学部外国語外国文学専攻卒業。2000年9月英国University of York, MA修了。2005年3月奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程比較文化学専攻単位取得退学。元大阪経済大学非常勤講師。前京都工芸繊維大学非常勤講師。  
②英文学

| 2007年度 学科主任一覧 |        |         |       |
|---------------|--------|---------|-------|
| [文学部]         |        | [短期大学部] |       |
| 真宗学科          | 藤嶽 明信  | 史学科     | 宮崎 健司 |
| 仏教学科          | 織田 顕祐  | 文学科     | 石橋 義秀 |
| 哲学科           | 朴 一 功  | 国際文化学科  | 鄭 早 苗 |
| 社会学科          | 矢野 のり子 | 人文情報学科  | 福田 洋一 |
|               |        | 仏教科     | 一色 順心 |
|               |        | 文化学科    | 番場 寛  |
|               |        | 幼児教育保育科 | 大城 邦義 |




①略歴 ②専門分野 (所属)




事務職員  
(書記補)  
内堀 陽子  
(うちぼり ようこ)


①2006年3月大阪大学大学院法学研究科博士前期課程修了。  
②総務部




事務系嘱託  
(総務部)  
白井 理恵  
(うすい りえ)



事務系嘱託  
(教育研究支援部)  
榎川みのり  
(えがわみのり)




事務系嘱託  
(教育研究支援部)  
川勝 直子  
(かわかつ なおこ)




事務系嘱託  
(学生支援部)  
近藤 聡子  
(こんどう さとこ)




事務系嘱託  
(教務部)  
酒井 絵理  
(さかい えり)




事務系嘱託  
(学生支援部)  
坂田 恵美  
(さかた えみ)




事務系嘱託  
(企画室)  
佐々木晃子  
(ささき あきこ)




事務系嘱託  
(教育研究支援部)  
佐々木玲加  
(ささき れいか)




事務系嘱託  
(教育研究支援部)  
佐藤 雅子  
(さとう まさこ)




事務系嘱託  
(学生支援部)  
佐野 千恵  
(さの ちえ)




事務系嘱託  
(企画室)  
清野 暁子  
(せいの あきこ)




事務系嘱託  
(学生支援部)  
徳正 絢子  
(とくまさ あやこ)




事務系嘱託  
(総務部)  
戸田 佳世  
(とだ かよ)



事務系嘱託  
(校友センター)  
中出 美保  
(なかで みほ)



事務系嘱託  
(教務部)  
深澤 淳子  
(ふかざわ じゅんこ)



事務系嘱託  
(教育研究支援部)  
森本 早保  
(もりもと さほ)



## 文学部の「分野」名称が「コース」に変更されます

2007年4月より、従来、文学部各学科に設置されている「分野」が「コース」に変更されます。また、2007年度新入学生(編入学生は2009年度)から、仏教学科にインドコース、チベットコース、中国コース、日本コースが、人文情報学科に情報デザインコース、メディアクリエーターコース、情報文化コースが設置されます。

### 2007年度入学者

| 文学部    |        |         |       |       |         |        |        |        |          |          |          |          |        |           |         |           |        |         |        |          |          |           |               |         |
|--------|--------|---------|-------|-------|---------|--------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|--------|-----------|---------|-----------|--------|---------|--------|----------|----------|-----------|---------------|---------|
| 真宗学科   | 仏教学科   |         |       | 哲学科   |         |        | 社会科学   |        |          | 史学科      |          | 文学科      |        | 国際文化学科    | 人文情報学科  |           |        |         |        |          |          |           |               |         |
| 真宗学コース | インドコース | チベットコース | 中国コース | 日本コース | 西洋哲学コース | 倫理学コース | 宗教学コース | 教育学コース | 現代社会学コース | 文化人類学コース | 社会福祉学コース | 臨床心理学コース | 国史学コース | 日本仏教史学コース | 東洋史学コース | 東洋仏教史学コース | 国文学コース | 中国文学コース | 英文学コース | ドイツ文学コース | 国際文化学コース | 情報デザインコース | メディアクリエーターコース | 情報文化コース |

### 2006年度以前の入学者

| 文学部    |        |  |  |         |  |  |        |        |        |          |          |          |          |        |           |         |           |        |         |        |          |          |          |
|--------|--------|--|--|---------|--|--|--------|--------|--------|----------|----------|----------|----------|--------|-----------|---------|-----------|--------|---------|--------|----------|----------|----------|
| 真宗学科   | 仏教学科   |  |  | 哲学科     |  |  | 社会科学   |        |        | 史学科      |          | 文学科      |          | 国際文化学科 | 人文情報学科    |         |           |        |         |        |          |          |          |
| 真宗学コース | 仏教学コース |  |  | 西洋哲学コース |  |  | 倫理学コース | 宗教学コース | 教育学コース | 現代社会学コース | 文化人類学コース | 社会福祉学コース | 臨床心理学コース | 国史学コース | 日本仏教史学コース | 東洋史学コース | 東洋仏教史学コース | 国文学コース | 中国文学コース | 英文学コース | ドイツ文学コース | 国際文化学コース | 人文情報学コース |

## AED(自動体外式除細動器)設置

AED(自動体外式除細動器)を本部キャンパス正門守衛所、湖西キャンパスセミナーハウス事務室に設置しました。

AEDとはAutomated External Defibrillatorの頭文字をとったもので日本語では自動体外式除細動器と訳されます。日本では2004年7月から一般市民によるAEDの使用が認められました。それ以降、駅や商業施設、公共施設等において設置されるようになりました。

AEDは一般に「心臓麻痺」と呼ばれる心停止の状態(多くは「心室細動」という心臓の痙攣から始まっています。)を除細動(電

気ショック)を与えることにより心臓を正常な状態に戻す医療機器です。

AEDを学内に設置するにあたり、北消防署、校医による講習会を実施しました。講習会には教育職員、事務職員、守衛所職員等の計44人が受講しました。学生向けには体育会を対象とした講習会を実施しました。今後も定期的に講習会を実施していきたいと考えています。(総務課)



講習会の様子



AED設置ポスター(正門守衛所)

## 首都師範大学と「学部学生教育に関する共同学位授与プログラム実施協定」を締結

かねてより、学術交流協定校の首都師範大学(北京)と本学とのあいだで協議を重ねてきた共同学位授与プログラムが合意に至り、今般、協定を締結いたしました。

この「学部学生教育に関する共同学位授与プログラム実施協定」は、首都師範大学で第2学年を終了し所定の単位を修得した学生

を、本学の文学部第3学年に推薦編入学で受け入れるプログラムで、双方の大学が相手側大学の修得単位を認定することにより、本学で第4学年を卒業する時に、大谷大学と首都師範大学の両大学から学位が授与されるものです。

同プログラムはすでに東北師範大学(長春)とも締結しています。

当面は学術交流協定校からの受入れのみですが、将来的には本学の学生が学術交流協定校に編入学し、両大学の学位を取得できるよう諸条件を整えて行く計画です。

(教育研究支援課)

## 本学卒業生がエッセーを出版

本学文学部真宗学科卒業生の大桑千花さんが、2006年12月に著書『ロスト・ラゲッジ～エルサレムのかたすみで～』を而立書房より出版されました。

大桑さんは、本学在学中より「なぜ人に宗教は必要か。」との問いと共に、アジアをはじめ欧米、中東の様々な国々を旅し続け、現在ではエルサレムに在住し、執筆活動のほか、フォトグラファーや翻訳家として活動されています。

この度の著書は、日本から見る

とあまりに非日常的に感じられるエルサレムでの生活の中で感じたことを綴ったエッセー集です。現在、エルサレムにあるヤド・ヴァシム・ホロコースト記念館の図書館に、数少ない日本語の本の一冊としても保管されているそうです。

今回の出版にあたり、大桑さんから在学生に向けて「問わず者、学ばず。大谷大学というすばらしい問いの場をステップに、流されず美しく人として開花してくださ

い。」とのメッセージをいただきました。大桑さんの今後のますますのご活躍が期待されます。

(企画室)



大桑千花さん



## 国際交流音楽祭を開催

1月18日(木)、Big Valley Cafeにおいて国際交流音楽祭を開催しました。

音楽祭は、修士課程第2学年のAdam A. Catt(アダム A. キャット)さんによるクラシックギターのミニコンサートで始まりました。Cattさんは曲の説明などを交えながら、自身が作曲された曲やスペインの民謡など全5曲を演奏してください、参加者はクラシックギターの柔らかな音色に喧騒を忘れる時間を共有しました。その後、ギター部の学生2名がギター演奏

で音楽祭に花を添え、GLOBAL SQUAREで活動をしている中国語歌の会と韓国・朝鮮語勉強会のメンバーも歌を披露しました。中国語歌の会は美しく透き通るような声で歌い、韓国・朝鮮語勉強会は喜多恵美子講師の指導のもとメンバーと参加者全員で韓国語の歌を合唱しました。またGLOBAL SQUAREのスタッフも中国語と日本語の歌を飛び入り参加で歌いました。

参加者は、音楽を楽しむとともにGLOBAL SQUAREでのこれま

での活動を振り返ったり、これからの活動について話をしたりと、交流の輪が広がるひとときとなりました。

(GLOBAL SQUARE)



中国語歌の会の皆さん

## 京都市北区地域福祉推進シンポジウム開催

1月26日(金)、響流館メディアホールにおいて「北区地域福祉推進シンポジウム」が開催されました。これは北区の民生委員や老人クラブ、行政など各団体の代表でつくる北区地域福祉推進委員会が主催し、本学が企画・会場提供に協力したものです。

本シンポジウムは、北区にも設置されている地域包括支援センターや地域介護予防推進センターの

役割の紹介や、北区における介護予防の取り組みを周知するために開催され、市民、学生など100名を超える参加がありました。

シンポジウムでは、本学の山下憲昭助教授(現：教授)が、基調報告とコーディネートをを行い、紫竹地域包括支援センターの甲田由美子氏、北区地域介護予防推進センターの山本俊和氏、元町社会福祉協議会の上田茂雄氏の活動報告が

ありました。

(教育研究支援課)



シンポジウムの様子

## 留学生文化交流会開催

2006年度第3回留学生文化交流会を2月1日(木)に開催し、外国人留学生・日本人学生あわせて29名が参加しました。

今回は2部構成で、第1部は、甘春堂東店にて京菓子作りを体験しました。はじめに甘春堂の方から京菓子についてお話いただき、昔は京菓子を型押しで作っていたが、型彫りにお金がかかったため手作りに移行したことや、今では昔とは違い職人による手作りの方が貴重であること、また、草花など身近なものを題材にすることなどをお聞きしました。続いて、職人の方にご指導いただき箸や器具などを使い、上生菓子・干菓子作

りに取り組み、外国人留学生も慣れた様子で箸を使っているのがとても印象的でした。また、「再挑戦してみたい」という声もあり、参加者にとって大変有意義な体験となりました。

第2部は、智積院会館内一休庵にて、修了予定の外国人留学生の送別会を開催しました。留学期間

は最短1年から最長7年とさまざまですが、「大谷大学での留学生生活は充実していました」、と皆笑顔で挨拶をされていました。

本学での留学経験を活かし、ますます飛躍されることを期待いたします。(学生課)



第1部 京菓子作り体験の様子



第2部 送別会にて



## 大谷大学教育後援会勤労学生表彰奨学金が贈られる



表彰を受けた皆さん

このたび、教育後援会より勤労学生表彰奨学金が5名の学生に贈られました。この奨学金は、教育後援会が学生生活支援の一環として設立した制度で、家庭からの就学援助が皆無に等しく、学費や生活費のほとんどを奨学金やアルバイトにより支弁している者で、なおかつ人物、学業共に他の学生の

模範となる勤労学生に対して支給されるものです。

表彰式は、2月21日(水)午後2時より、尋源講堂にて執り行われ、頼尊聖教育後援会会長より一人ひとりに表彰状と奨学金(8万円)が贈られ、労いと励ましの言葉が述べられました。

(校友センター)

## 大学開放事業として大津市の子育て支援サークルに協力

3月6日(火)、湖西キャンパスセミナーハウスにて、大津市仰木の里地域の子育て支援サークル「さくらんぼクラブ」が主催する餅つき大会が開催され、地域の子どもたちと保護者の方、約60人が参加しました。

「さくらんぼクラブ」の餅つき大会には、地域への大学開放・地域連携事業の一環として、2004年から会場提供の協力をしています。

また、本年も児童文化研究会が協力を依頼され、パネルシアターや人形劇の上演を行いました。お兄さんお姉さんの演じるステージに子どもたちは大喜びで、上演終了後も一緒に遊んでいました。

青空の下で行われた餅つき大会では、子どもたちは保護者の方々がふるう杵や、石臼の中でもち米がお餅に変わっていくさまに驚いた様子でした。また、子どもたち自身も餅つき体験をし、自分たちがついたお餅をおいしそうに頬張っていました。

児童文化研究会の斎藤駿児さん(哲学科第2学年)は、今回の参加について「今年は児童文化研究会

の部員5名が参加しました。2004年から協力させていただき、もう毎年恒例の行事になりつつありますが、毎回子どもたちは新鮮で楽しい気持ちを私たちに届けてくれます。あまりに楽しいものですからついつい杵にも力を入れすぎてしまいました。また来年も子どもたちとの餅つき大会を部員一同楽しみにしています。」と話してくれました。(教育研究支援課)



餅つき大会に参加した皆さん



子どもたちの前で杵をふるう斎藤さん

## 大谷幼稚園でオペレッタ「大きなカブ」を上演

3月2日(金)、大谷幼稚園の「3月のお誕生会」におきまして、幼児教育保育科第1学年の有志学生によって結成されました「ガンバリ☆S'」が、オペレッタ「大きなカブ」を上演しました。

大谷幼稚園では誕生月に対象の園児をお祝いするお誕生会が開かれており、毎年3月は、幼児教育保育科の学生が「音楽Ⅱ」の授業において学んできた成果の発表の場として4年前から参加しています。

「音楽Ⅱ」の授業では、今回4つのグループを作り、それぞれがオペレッタの演目を選び、アレンジを加えて趣向を凝らし、練習を積み重ねてきました。そして、1月に選考会を行い、今回、見事に勝ち抜いたのが「ガンバリ☆S'」です。

リーダーの向井佑二さんは、「大きなカブ」の原作をもとに、自ら台本を作成し、演技指導も行ってきたそうです。最初はおとなしく座っていた園児たちも、途中

から様々なキャラクターがでてくると、幼稚園の先生方の注意も聞こえないほど、立ち上がって楽しそうに鑑賞していました。



オペレッタ「大きなカブ」の様子



向井さんはオペレッタ終了後の感想として「1月の選考会は先生方を対象にしていたのですが、今回は子どもたちが対象だったのでまったく勝手が違いました。特にセリフなどは、子ども用にと工夫しましたが、上手く伝わらず、わざわざした時には冷や汗をかきました。次に向けての改善点も多く見

つかりました。」と、第2学年に向けての意欲を語ってくれました。

(企画室)



向井佑二さん

## 課程博士の学位を授与

本学ではこのたび、博士後期課程修了者11名に、博士(文学)の学位を授与しました。学位取得者は、伊東恵深(真宗学)、西本祐攝(真宗学)、藤元雅文(真宗学)、都真雄(仏教学)、村田裕美(仏教学)、村西弘行(仏教学)、Bunchird. C

(仏教学)、岡本敦之(哲学)、星津香織(社会学)、西山昭仁(仏教文化)、鈴木善幸(仏教文化)の各氏です。

(教務部)



学位を取得された方々

## 2006年度同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」が贈られる

同窓会学生支援表彰「菩提樹賞」の表彰式が2007年3月16日(金)、卒業・修了ならびに同窓会新入会員歓迎祝賀会において執り行われ、藤島建樹同窓会会長から2006年度表彰者2名に対し、表彰状および記念品が授与されました。

この制度は、学術・文化・スポーツ、ボランティア活動などの分野で顕著な成績や多大な成果を収め、大谷大学の発展に貢献した学生または課外活動団体を表彰することにより、学生生活の充実に資することを目的として、2005年度

より制定されたものです。

### 2006年度「菩提樹賞」受賞者

◎後藤 靖英 (文学部真宗学科 2007年3月卒業)

石川県白山市主催「第22回暁烏敏賞第1部門(哲学・思想に関

する論文)」入選。

◎Jin Wei(金 偉)(大学院修士課程仏教文化専攻 2007年3月修了)

中国語訳『今昔物語集』の出版(校友センター)



後藤靖英さん



Jin Weiさん

## 『文藝春秋』誌コラム執筆者紹介

本学は各種の雑誌に様々な広告を掲載しています。そのいずれもが、大学教育研究の一端を紹介するものとなっており、読者の方々

から高い評価を得ています。今年度も『文藝春秋』誌に毎月「生活の中の仏教用語」というコラムを掲載中です。今年度の執筆担当の

先生方は次のとおりです。

- 木村 宣彰 (仏教学)
- 沙加戸 弘 (国文学)
- 宮下 晴輝 (仏教学)

## 実習支援センターが開設されました

2007年4月に実習支援センターが2号館1階に開設されました。同センターは昨年より準備室として、開設に向けての準備と一部業務をはじめてきました。同センターは、本学文学部社会学科の社会福祉学コースと、短期大学の幼児教育保育科の学外実習の支援を目的とする機関として、また、実

習協力園、施設との対外的なネットワーク機関として設置されました。幼児教育や社会福祉業界の新しい情報収集を行い、学生諸君への情報提供などの便宜が図られることとなります。

現在、実習協力園、施設の概要案内や事業報告書などの資料収集がおこなわれており、実習施設に

ついでにの事前学習の便宜が図られるよう作業がすすめられています。また、社会福祉士の国家試験関連の資料、過去の問題集なども揃えて、国家試験の受験への支援機関として整備をすすめています。

(教務部)

## 2007年度より「オフィスアワー」制度を導入します。

「オフィスアワー」とは、教員が授業・履修相談及び学生生活等に関する学生の質問・相談等に応じるための時間として、あらかじめ示された特定の時間帯のことで

す。大谷大学では2007年4月より「オフィスアワー」制度を導入し、各教員が研究室等に待機している時間を週1コマ設けます。

「オフィスアワー」を有効に活用し、学生生活をより有意義なものにしてください。

以下、概要を質問形式で説明します。

**Q 研究室を訪問する時に予約は必要ですか？**

A 「オフィスアワー」に設定されている時間であれば予約は必要ありません。研究室などの決められた場所へ直接訪問してください。

**Q 訪問できるのは担当の指導教員だけですか？**

A 本学専任教員であれば指導教員でなくてもかまいません。登録科目以外の教員を訪問することも可能です。

**Q 訪問する教員の「オフィスアワー」の時間と場所はどのように確認することができますか？**

A 各建物(至誠館・1号館・2号館・博綜館・聞思館・響流館)に設置された専用端末または、本学ホームページ(学生向け情報提供システム)にて確認してください。(詳細については次頁を参照してください)

**Q 「オフィスアワー」にも休講はありますか？**

A 通常の授業同様、教員の急病や学会出張等の都合で「オフィスアワー」が休止になる場合があります。休止になる場合は、教務部休講掲示板・専用端末・学生向け情報提供システムにてお知らせします。

**Q 夏休み中でも実施されるのでしょうか？**

A 実施期間は原則、授業実施日です。年末年始、夏休み、春休み、定期試験期間や行事等の授業がない時は実施されません。

**Q 科目等履修生ですが「オフィスアワー」を利用できますか？**

A 大学院・文学部・短期大学部に所属していなくても科目等履修生や聴講生、外国人留学研究生等であれば「オフィスアワー」を利用することができます。  
(教務部)

## 「学生向け情報提供システム」～新サービス案内と利用方法について～

**NEW!**

「オフィスアワー」の情報照会が可能になります

オフィスアワー制度の導入に伴い、以下3つのシステムから各教員の「オフィスアワー」情報を照会できるようになります。是非ご活用ください。

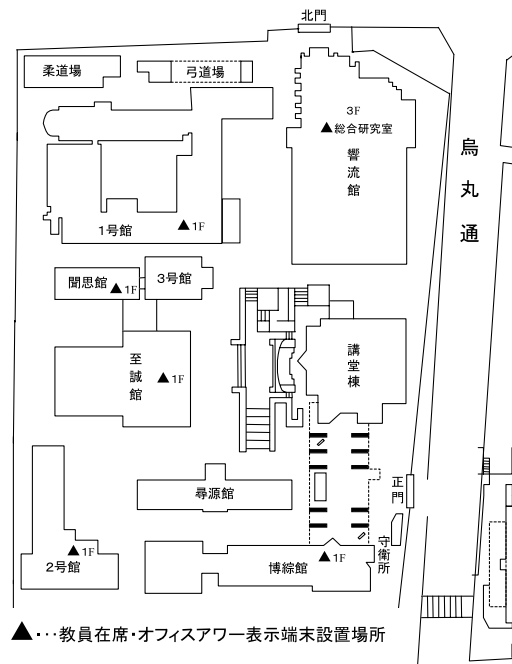
- ①パソコン版「学生向け情報提供システム」
- ②携帯版「学生向け情報提供システム」
- ③学内設置の専用端末（右の学内図参照）



専用端末を利用した照会画面



専用端末



▲…教員在席・オフィスアワー表示端末設置場所

### ◆システムについて◆

本システムは、学内掲示板の補助サービスとしてインターネットを利用し、主に以下の情報を提供しています。

**\*科目等履修生・聴講生も利用できます。**

### ◆利用方法◆

大谷大学ホームページ(<http://www.otani.ac.jp/>)から「学生向け情報提供システム」ボタンを選択し、ログイン画面でIDとパスワードを入力し、本システムにログインしてください。

携帯電話からも休講情報等一部のサービス内容を利用できます。  
(<https://www1.otani.ac.jp/m/>)→



◀「学生向け情報提供システム」トップページ▶



内容を利用できます。  
(機種により読み取れない場合があります。)

### ◆サービス内容◆

- ・ 掲 示 板…<一般掲示板>学生生活に必要な情報(授業・試験・奨学金・進路支援・連絡事項等)をカテゴリーごとに配信します。  
<個人掲示板>学生呼出等、個人宛の情報を配信します。
- ・ 授 業 情 報…休講・補講・教室変更等の情報を時間割形式や一覧形式にて表示します。この他、登録確定前に登録エラーを含めた聴講情報(通年)を確認したり、『授業概要(シラバス)』参照が利用できます。
- ・ 時間別教室状況…教室ごとの使用状況を表示します。
- ・ オフィスアワー情報…実施の時間帯や休止の情報を表示します。
- ・ 就 職 支 援…求人・事業所検索やPDFによる求人票を閲覧できます。
- ・ 留 学 の 手 引…留学に関する制度や手続き方法などを閲覧できます。

### <注意事項>

本システムは、学内掲示板の補助となるものです。学内掲示板でのみ連絡する事項もありますので、登校時には必ず学内掲示板を確認してください。掲載内容への問合せについては、掲載部署までお願いします。

# 国際交流トピックス

一度は海外で学んでみませんか？

2007年度

## 国際交流科目〈海外研修〉のお知らせ

教務部

今年度の国際交流科目を次の通り開講します。履修希望者は『履修要項』『授業概要(シラバス)』を読んだうえで、4月のオリエンテーション期間に開催される「国際交流科目(海外語学・文化研修)説明会」に必ず出席し、予備登録をしてください。履修希望者多数の場合は選考になります。なお、国際情勢によっては、皆さんの安全確保のため中止にすることや、現地事情により日程他を変更することもありますので、留意してください。

### 海外語学研修

#### 中国 東北師範大学短期中国語研修 [中国文化事情・実践中国語1]

東北師範大学は中国北部の吉林省長春市にあります。夏は涼しく研修に快適な気候です。授業はクラスごとに平日の午前中、現地大学の先生により全て中国語で「会話」や、「閲読」、「文化紹介」を中心に実施する予定です。午後は基本的に自由行動ですが、太極拳講座やその他の課外活動のある日は、それに参加します。週末には小旅行も企画する予定です。

3週間の中国語研修終了後は3泊4日で北京を訪れ、万里の長城、京劇鑑賞、故宮博物院など、市内の見学研修を行います。

現地研修 8月2日(木)  
～8月31日(金)予定  
定員 30名  
費用 28万円予定  
滞在 大学寮



東北師範大学の先生と

#### 英国 キール大学短期英語研修 [イギリス文化研究・実践英語]

キール大学はイギリス中部の自然環境に恵まれた広大なキャンパスを持つ大学です。研修には、現地教員のもとで英語及びイギリス文化を学ぶ授業の他に、陶磁器で有名なウェッジウッドの見学や、チェスター、リバプール、オックスフォード、ストラットフォード・アポン・エイボンへの日帰り旅行などが組み込まれており、イギリスを思う存分体験することができます。滞在中、前半はホーム

ステイ、後半は寮に宿泊の予定です。

キール大学での研修終了後は、ロンドンに数日間滞在して帰国します。

現地研修 8月13日(月)  
～9月6日(木)予定  
定員 25名  
費用 52万円予定  
滞在 ホームステイ、大学寮、ホテル



キール大学の授業風景



## 海外文化研修

### インド仏教遺跡研修 [インドの宗教と文化]

仏教が誕生したインドの大地に足を踏み入れ、インドの宗教や文化に触れることを目的とした研修です。釈尊誕生の地ルンビニー、成道の地ブッダガヤー、初転法輪の地サルナート、入滅の地クシーナガラ。これら「仏教の四大聖地」と呼ばれる場所を訪れるのが研修の中心です。また、祇園精舎や王舎城などの仏教遺跡、さらには、ガンジス河のガートで知られる聖地ベナレス、世界遺産タージ・マハル廟などを訪れます。

インドは、奥深い伝統を保持し

ながらも一方ではあらゆる面で急激な成長を続けています。様々な姿を持つインドの文化世界を体験する貴重な機会になるはずです。

現地研修 1班 8月25日(土)  
～9月8日(土)予定  
2班 9月1日(土)  
～9月15日(土)予定  
定員 各班40名(内、科目等履修生2名、単位互換生5名)  
費用 30万円予定  
滞在 ホテル



アショーカ王石柱の前で

### 中国仏教遺跡研修 [中国の宗教と文化]

日本の宗教と文化に決定的影響を与えた中国。この研修は、仏教遺跡を中心に中国を実際に訪ねることによって、中国と日本、双方の宗教と文化理解を深めることを目的とします。

中国仏教最高聖地の一つに数えられる五台山や曇鸞創建と伝えられる玄中寺をはじめ、長安(現西安)では、鳩摩羅什が経典の翻訳活動を行った草堂寺や玄奘三蔵の遺骨が埋葬されている興教寺などを訪ねます。途中、世界遺産に指

定された平遥や秦の始皇帝陵・兵馬俑、龍門石窟等にも足を運びます。そして最後はシルクロードをひた走り、砂漠のオアシス敦煌へ。ラクダに乗って砂漠を往きます。

短期の研修ではありますが、帰国後の「学び」にも大きな影響を与える旅となるでしょう。

現地研修 8月20日(月)  
～8月31日(金)  
定員 30名  
費用 25万円予定

滞在 ホテル



龍門の石窟

### ヨーロッパ文化研修<フランス> [ヨーロッパの宗教と文化 (フランス)]

フランスの豊かな生活文化や地方の美しい風景・歴史的建造物などにじかに触れ、具体的知識だけでなく内面的視野をも広げることを目的とした研修です。フランス研修は隔年に実施されているものですが、今回5回目の研修でもパリのほか、これまで好評だったアルザスやブルゴーニュなどを、比較的時間をかけてまわります。フランス語未習者も問題なく参加で

きます。

事前講義と現地でのうちとけた体験学習を通じて、フランス文化のみならず、さまざまな事柄をひろく柔軟に見直すきっかけとしてもらいたいと願っています。

現地研修 8月23日(木)  
～9月4日(火)  
定員 30名  
費用 37万円予定

滞在 ホテル



アルザス地方の伝統ある街・コルマル

## 学 生 課

### 自転車・バイクによる通学について

通学に自転車やバイクを使用する人は以下のことに注意してください。なお自家用車による通学は禁止されています。

○バイク等は体育館北側のバイク置き場に、自転車はキャンパス西側の指定された自転車置き場に駐輪してください。

○自転車・バイクを学内に駐輪するためには登録シールの貼付が必要です。登録シールは入学時に学生証と同時に配布しています。登録シールは卒業・修了まで使用します。紛失した場合は、学生課まで申し出てください。登録シールが貼付されていない

自転車・バイクは入構を断る場合があります。  
○自転車・バイクは通学のみに使用し、大学に放置しないでください。長期間放置してある自転車・バイクは処分します。

### 不当請求・悪質商法に注意

近年、悪質な物品販売や勧誘によるトラブルが多発していますが、最近、特に不当請求による被害が急増しています。不当請求には様々な手口があり、非常に巧妙です。ダイレクトメールやEメールにより、身に覚えのない請求を受けて困っているとの相談が、実際に寄せられています。また、悪質商法により、万一、契約してしまった場合でも一定期間であれば解約できるクーリング・オフ制度があります。以下の表は、不当請求や悪質商法の一例です。万一、被害を受けた場合は、すみやかに学生課または市民生活センター等に相談してください。

#### 【不当請求の例】

| 名称              | 内容   | 対処方法  |
|-----------------|--|---|
| 情報提供サイト利用料の不当請求 | ①ダイレクトメールによる身に覚えのない不当請求。<br>通信会社からの委託業者と偽り、架空の請求を行う。<br><br>②勧誘メールにうっかりアクセスしてしまい、アダルトサイトの登録料として不当請求される。比較的支払い可能な範囲の金額が請求される。 | ◎身に覚えのない請求は無視する。<br>◎名前や住所などの個人情報は一切教えない。(自ら問い合わせしない。)<br>◎支払いの出来る範囲の金額だからといって、請求金額を振り込まない。(さらに高額な金額を請求される可能性があります。)<br>◎ハガキやメールは保存しておくこと。<br>◎請求に関して裁判所から通知が届いた場合は、出頭しなければ債権支払い義務が発生します。至急、学生課に相談してください。 |

#### 【悪質商法の例】

| 名称               | 内容  |
|------------------|---|
| キャッチセールス商法       | 「肌が荒れている」などと声を掛け、エステや化粧品を強引に契約・購入させられる。   |
| アポイントメント商法       | 「あなたが選ばれました」などと電話で呼び出され、会員権などを契約させられる。  |
| 自己啓発<br>(性格改造)商法 | 「新しい自分を発見しませんか」などとセミナーに誘い、高額な講座契約をさせられる。  |
| 騙り(かたり)商法        | 大学や大学の担当者(偽名)と偽って、教材や名簿などの購入を強要される。   |
| マルチ商法            | うまい話で友人や知人を勧誘して販売組織を拡大させていく商法。ネズミ算式に会員を増やすシステムは、やがて行き詰まることになり、紹介しやすい身近な友人などを販売の対象にするため、人間関係を悪化させることになる。 |

#### 【クーリング・オフ制度】

訪問販売で購入した場合「特定商取引法」で指定された商品やサービスについて、8日以内(マルチ商法では20日以内)に申し込みの撤回または契約の解除通知をすれば、契約を破棄することができる制度です。契約解除の通知は必ず書面(内容証明郵便か少なくとも配達記録郵便。下記参照)で送らなければなりません。また、クーリング・オフができない場合もありますので、詳しくは学生課または市民生活センターにお尋ねください。

#### 《内容証明郵便物の書き方例》

所在地  
○販売株式会社  
代表取締役○○○殿

住所 氏名

契約解除通知  
左記の契約は解除します。

一 契約年月日  
二 商品名  
三 契約金額  
四 締結場所

なお、支払額の○○円を返金し商品を引き取ってください。

○年○月○日

(印)

- 内容証明郵便の用紙は、文具店で販売しています。
- 3枚作成して、郵便局(集配局)の窓口へ。
- 印鑑も忘れずに。

#### 《配達記録郵便(はがき)の書き方例》

郵便はがき

○ ○ ○ ○ ○ ○

株式会社御中

申込(契約)年月日  
販売会社名  
商品名及び金額  
担当者名  
右記日付の申込を撤回(又は契約を解除)します。  
○年○月○日  
住所 氏名

〔おもて〕                      〔う ら〕

○はがきの内容をコピーし、配達記録郵便の受領書といっしょに保管しましょう。

京都市市民生活センター  
〒604-8186  
京都市中京区烏丸御池東南角  
アーバネックス御池ビル  
西館4階  
☎(075) 256-0800  
URL <http://www.city.kyoto.jp/bunshi/soudan/index.html>  
相談受付時間  
9:00~16:00  
<ただし、12:00~13:00を除く>  
休館日  
土曜日・日曜日・祝日・年末・年始  
<ただし、土曜日・日曜日には電話相談あり。10:00~16:00  
☎(075) 257-9002>

## 盗難に注意

学年初めは何かと慌ただしく、ついうっかりとしてカバンなどを置いて席を離れることがありますか。

毎年、大切なカバンや貴重品の盗難にあうことがよく起こります。特に、食堂・図書館・教室など混雑する所では注意してくださ

い。自分の持ち物はしっかりと管理しましょう。万一、学内で盗難にあった場合、すみやかに学生課へ届けるとともに、キャッシュカード・クレジットカード・携帯電話などはすぐに取引停止の手続きを行い、警察へも届けてください。

また、大学近辺の路上で、自転

車に乗っていて自転車の前かごからカバンを盗まれるという引ったくり事件が多発しています。かごに防犯ネットを被せたり、カバンを前かごに固定するなどして防犯対策を心がけてください。

## 学内・通学中などにケガをしたら

本学の全学生は「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。この保険は、正課授業や課外活動中（試合や合宿を含む）および通学中に負傷し、定められた日数（正課授業で4日、通学中で7日、課外活動で14日）以上にわたり治療を要した場合に保険金が支払わ

れるものです。またキャンパス内での休憩時間中の事故や講義に行く途中に階段を踏み外して捻挫した場合、大学行事に参加して負傷した場合なども対象となります。

この保険は事故発生から30日以内に大学から保険会社に事故通知

書類を提出する必要があります。事故が発生した場合は、直ちに学生課へ届け出てください。また、授業中のケガは、授業担当教員に必ず報告してください。

詳しい内容のパンフレットは保健室に置いています。

## 定期健康診断の実施について

オリエンテーション期間中、4月5日(木)・6日(金)に定期健康診断を実施します。詳細については受診案内、保健室掲示板および学生課掲示板で確認し、必ず全員受診してください。

教育実習や諸資格取得希望者、

就職活動をする学生は、活動時に「健康診断証明書」が必要となります。証明書は健康診断を受けないと発行することができません。

## 校医による健康相談

博綜館1階に保健室があります。保健室に保健師が常勤しています。また、校医による健康相談を毎週水曜日10:30~12:30、婦人科校医による健康相談を第2・第4木曜日11:00~13:00に行っています。

## 学生相談室

博綜館1階の学生相談室では、皆さんの悩みや不安の相談に応じています。学業に対する不安、人間関係にまつわる不安、将来の進路に関する不安などひとりで悩まずに、学生相談室のドアをノックしてください。学生相談室ではカウンセラーがあなたの来室を待っています。

利用の方法は直接来室するか、または直通電話(075-411-8121)を利用してください。なお、相談内容は厳密に守秘されます。

学生相談室は、月曜日から金曜日10:30~16:00に開室しています。(P.34参照)

## 教 務 部

### 聴講登録について

文学部・短期大学部・大学院、全学年ともに4月に前期・後期・集中・通年を含めて1年間の全科目を一括登録します。手続きの期日を確認し、聴講登録をしてください。詳細については『履修要項』を参照してください。

| 4月 | 日                      | 月                | 火    | 水           | 木    | 金  | 土  |
|----|------------------------|------------------|------|-------------|------|----|----|
|    | 1                      | 2                | 3    | 4           | 5    | 6  | 7  |
|    |                        | ←*1→             | ←*2→ |             |      |    |    |
|    | ←オリエンテーション期間(新入生は3日～)→ |                  |      |             |      |    |    |
|    | ←抽選期間(新入生は3日～)→        |                  |      |             |      |    |    |
|    | 8                      | 9                | 10   | 11          | 12   | 13 | 14 |
|    |                        | 授<br>業<br>開<br>始 |      | ←聴講登録票提出期間→ |      |    |    |
|    | 15                     | 16               | 17   | 18          | 19   | 20 | 21 |
|    | 22                     | 23               | 24   | 25          | 26   | 27 | 28 |
|    |                        |                  |      |             | ←*3→ |    |    |
|    |                        |                  |      |             | ←*4→ |    |    |
|    | 29                     | 30               |      |             |      |    |    |
|    | 昭<br>和<br>の<br>日       | 振<br>替<br>休<br>日 |      |             |      |    |    |

**\*1**  
登録関係書類・履修単位通知書配付日(在学生ののみ) 4月2日(月)  
学生証を持参し、書類を受け取ってください。

**\*2**  
入学式・登録関係書類配付(新入生ののみ) 4月3日(火)

**オリエンテーション期間** 4月2日(月)～7日(土)  
各種の履修や諸課程に関する説明会が行われます。該当の説明会には必ず出席し、分からない点はこの期間中に確認してください。

**抽選期間** 4月2日(月)～5日(木)  
一部の受講生数制限のある科目について抽選を実施します。希望する科目が該当するか確認をし、選択用紙を提出してください。

**前期授業開始** 4月9日(月)  
各自時間割を作成し、第1回目の授業から出席してください。

**聴講登録票提出期間** 4月11日(水)～13日(金)  
(受付時間…9:00～16:30 提出場所…至誠館1階教務部前)  
上記の期間に聴講登録票を提出してください。  
※提出後の追加・変更はできません。  
※コンピュータ処理上、この提出期間を過ぎると登録ができなくなりますので注意してください。

**\*3**  
聴講登録確認票配付日 4月26日(木)  
(配付時間…10:00～16:30 配付場所…講堂棟1階ホワイエ)

- 聴講登録確認票を受け取り、下記の点を確認してください。
  - ①卒業・修了、進級見込みについて「合格」になっているか。
  - ②登録しようとした科目が正しく登録されているか。
  - ③各学年の必修科目を登録し忘れていないか。
  - ④履修条件に合わない科目を登録し、エラーコメントが表示されていないか。
  - ⑤登録単位数制限オーバーのコメントが表示されていないか。
- その他、エラーコメントの出ないミス(科目番号やクラス違いなど)についても各自で確認してください。
- 確認後、修正の必要がない場合は、各自、聴講登録確認票を1年間保管してください。

**\*4**  
聴講登録確認期間・登録エラー修正期間 4月26日(木)～27日(金)  
(受付時間…9:00～17:00 受付場所…教務部)

- 登録エラー修正が必要な場合は、この期間中に教務部へ申し出て手続きをしてください。(この期間を過ぎると修正はできません。)
- 登録エラーをそのままにしておくと、その科目の受講資格や定期試験の受験資格を失います。必ず修正してください。
- 登録単位数制限オーバーのまま修正をしなかった場合、機械的に科目が選択され、超過分が削除されます。
- 登録エラー修正後の聴講登録確認票の配付については、修正会場の掲示で日時等の詳細を確認してください。

**授業実施日** 4月30日(月)  
「昭和の日」の振替休日ですが、授業を実施します。

### 聴講登録の流れ

\*\*\*\*\* 前 期 \*\*\*\*\*

《履修単位通知書》受取り(在学生ののみ)

前年度の成績を確認します。

《聴講登録票》提出(全学生)

1年間の履修計画を立て登録します。  
後期科目も登録が必要です。

《聴講登録確認票》受取り(全学生)

《修正用聴講登録票》提出(登録エラー修正が必要な人のみ)

登録エラーを修正します。

《聴講登録確認票》受取り(登録エラー修正した人のみ)

登録状況の確認は、「学生向け情報提供システム」等で可能です。

\*\*\*\*\* 後 期 \*\*\*\*\*

《履修単位通知書》受取り(全学生)

前期科目の成績を確認します。

《修正用聴講登録票》提出(登録エラー修正が必要な人のみ)

前期科目の成績結果から、後期科目の登録修正します。

《聴講登録確認票》受取り(登録エラー修正した人のみ)

《修正用聴講登録票》提出(登録エラー修正が必要な人のみ)

登録エラーを修正します。

修正後の確認は、「学生向け情報提供システム」等で行ってください。



## 財 務 課

### 2007年度 前期学生納付金（学費）の納入について

納入期限は4月20日(金)―締切日厳守―です。

前期学生納付金の納入期限は4月20日(金)〈銀行受付日付有効・納入期日厳守〉です。

納入期限までに納入のない場合は、学則により除籍となりますので注意してください。振込依頼書は、保証人宛に3月31日に大学より発送しています。

4月7日頃になっても振込依頼書が届かない場合や紛失、破損した場合には再発行いたしますので、財務課まで申し出てください。

事情により期限内納入が困難と予測される場合には、学生課にて学費延納の手続きを4月20日(金)までに行ってください。学費延納手

続きには、「学費延納許可願」(所定用紙)および学費負担者の所得証明書(納税証明書・源泉徴収票等)が必要です。

後期学生納付金の納入期限は10月1日(月)です。後期学生納付金の振込依頼書については、8月31日に大学より発送いたします。

| 2007年度前期学生納付金一覧 |                        | 学 費     |         | その他の費用 |       |        | 合 計 額   |
|-----------------|------------------------|---------|---------|--------|-------|--------|---------|
|                 |                        | 授 業 料   | 施 設 費   | 大谷学会費  | 学生会費  | 教育後援会費 |         |
| 文 学 部           | 真宗、仏教、哲、社会、史、文、国際文化学科  | 397,500 | 100,000 | 1,000  | 2,500 | 15,000 | 516,000 |
|                 | 人文情報学科                 | 397,500 | 175,000 | 1,000  | 2,500 | 15,000 | 591,000 |
| 大 学 院           | 修士・博士後期課程(2006年度以降入学生) | 240,000 | 100,000 | 1,000  |       | 15,000 | 356,000 |
|                 | 修士・博士後期課程(2005年度以前入学生) | 240,000 | 60,000  | 1,000  |       | 15,000 | 316,000 |
| 短期大学部           | 仏教科・文化学科               | 397,500 | 100,000 | 1,000  | 2,500 | 15,000 | 516,000 |
|                 | 幼児教育保育科・幼児教育科          | 397,500 | 110,000 | 1,000  | 2,500 | 15,000 | 526,000 |

(幼児教育保育科は2006年度入学者から適用)

## 校 友 セ ン タ ー

### 2007年度 父母兄弟懇談会開催予定

大谷大学教育後援会では在学生の父母兄弟を対象に、毎年度全国の数地区と本学を会場に「父母兄弟懇談会」を開催しています。懇談会では、大学より教育・研究活動についての現況報告や、修学、進路・就職、学生生活等について個別相談にも応じています。当該地区のご父母兄弟の皆さまには、改めてご案内いたします。

なお、2007年度の開催予定は以下のとおりです。

| 名 称            | 開催日      | 開催地  | 会 場            |
|----------------|----------|------|----------------|
| 東海地区父母兄弟懇談会    | 6月17日(日) | 名古屋市 | 名古屋キャッスルプラザ    |
| 北海道地区父母兄弟懇談会   | 7月7日(土)  | 札幌市  | 札幌パークホテル       |
|                | 7月8日(日)  | 旭川市  | 藤田観光ワシントンホテル旭川 |
| 全国父母兄弟懇談会      | 9月29日(土) | 京都市  | 大谷大学           |
| 中国・四国地区父母兄弟懇談会 | 12月8日(土) | 松山市  | ホテル ザ・エルシィ松山   |
|                | 12月9日(日) | 岡山市  | 岡山ロイヤルホテル      |

## 図書館

### (1) 図書館の利用について

大谷大学図書館には約76万冊(2007年4月現在)の資料が所蔵されています。論文やレポートの作成、自習などに、図書館を大いに活用してください。また、図書館では次のようなサービスも提供しています。

1. 視聴覚資料(衛星放送やDVD、CDなど)で、外国語の学習や、授業の理解を深めることができます。(1F閲覧室)
2. ノートパソコンの貸出をしています。(2Fカウンター)
3. 学習・研究を支援するため、利用者の皆さんからの相談や質問に対して、情報の提供や情報源をアドバイスする「レファレンス・サービス」を2Fカウンターでおこなっています。「配架場所がわからない」、「どんな本があるのかわからない」など図書館や図書資料に関するあらゆる相談や質問を受け付けています。「どこで聞けばよいのかわからない」場合は、近くのカウンターに申し出てください。

### (2) 図書館Webサービスについて

学内外のパソコンから、本学ホームページを通じて、以下のサービスが受けられます。

1. 利用者情報…貸出中の資料の返却期限日などの確認ができます。
2. 貸出予約…貸出中の資料を予約ができます。
3. 文献複写申込…他大学から研究・学習に必要な文献のコピーを取り寄せることができます。なおWebサービスを利用するには、図書館Webサービス専用のIDとパスワードが必要です。IDとパスワードがわからなくなった場合は、図書館で再発行しますので、1Fカウンターま

で申し出てください。

### (3) 延滞に伴う貸出・予約停止の処置について

図書館では、利用者の便をはかるために、利用ルールを図書館規程として定めています。本館では、延滞(返却期限を過ぎてても未返却のことをいう)に伴う罰則として、返却期限日から超過した日数と同日数の間、貸出・予約の停止をいたします。返却が遅れることにより他の利用者の不利益となる場合があります。図書資料は利用者共有の財産という自覚を持って利用してください。

※以上の内容で変更がある場合は、掲示などで連絡します。

## 博物館

### 2007年度博物館展示計画

#### 春季企画展「大谷大学のあゆみ—歴代学長の肖像—」

会 期：2007年4月3日(火)～4月21日(土)

#### 夏季企画展「仏教の歴史とアジアの文化Ⅶ」

会 期：2007年5月22日(火)～8月5日(日)

#### 秋季企画展「仏教の歴史とアジアの文化Ⅷ」

会 期：2007年9月11日(火)～9月29日(土)

#### 冬季企画展(未定)

会 期：2007年12月4日(火)～12月22日(土)

#### 特別展「法隆寺一切経と聖徳太子信仰」

会 期：2007年10月9日(火)～11月28日(水)

2007年度春季企画展  
大谷大学のあゆみ  
— 歴代学長の肖像 明治・大正・昭和 —



2007年  
4月3日(火)～4月21日(土)

開館時間 午前10時～午後5時(ただし入館は4時30分まで)  
休館日 日・月曜日  
観覧料 200円(一般・大学生) 100円(小中高生)  
本学在学生・同窓生は無料

大谷大学博物館 〒603-8143 京都市北区小山上総町 Tel. 075-111-8483  
[http://www.otani.ac.jp/kyo\\_kikan/museum/](http://www.otani.ac.jp/kyo_kikan/museum/)

## 進路就職センター

進路就職センターは、就職・進学(大学院・編入・専門学校)などのガイダンスや知識や能力を高めるため、各種講習を開催するなど、卒業後の進路を支援しています。また、卒業後の進路について、今

何に取り組めばよいのか、などの相談にも応じています。

新入生をはじめ、学年を問わず進路就職センターを大いに活用してください。



相談風景

### 進路就職センターの取り組み

#### ●ガイダンス

卒業後の希望進路(就職・進学)に向けて、文学部第3学年・短期大学部第1学年・修士課程第1学

年・博士後期課程第2学年を対象にガイダンスを開催する予定です。内容や開催時期は、進路就職

センターから送付するDMや掲示、「学生向け情報提供システム」で確認してください。

#### ●講習

資格を取得することは、知識や能力を高め勉強意欲を向上させるだけでなく、将来のキャリア形成につながります。ぜひ講習を受講してください。受講対象は全学年です。第1学年の皆さんも受講できます。

##### 《講習紹介》

##### ◎秘書技能検定対応 ビジネスマナー講習(2級・準1級)

社会人として必要とされるビジネスマナー(挨拶・話し方・電話の応対など)を、基本から応用まで幅広く学びます。

##### ◎TOEICレベルアップ講習

##### (450点コース・600点コース)

語学力は企業が注目する能力です。特に英語の能力向上をめざし、リスニングを中心とした対策講習です。

##### ◎マイクロソフト オフィス

##### スペシャリスト対策講習

仕事をする上で最も使用されているWord(ワープロソフト)・Excel(表計算ソフト)の使用方法(初級：基本)を学びます。基本を踏襲したエキスパートレベル(上級：応用)やPower Point(プレゼンテーションソフト)も開講します。

##### ◎初級システムアドミニストレータ試験対策講習

システムアドミニストレータとは、情報システム管理者もしくはその資格を示します。近年企業でも積極的に受験が推奨されています。

\*他にも講習を予定しています。内容や開講については、掲示・「学生向け情報提供システム」、「キャリア支援案内」で確認してください。

#### ●企業ファイルと資料

会社案内や求人情報などをまとめた約7,000社の企業ファイルを配架し、自由に閲覧ができるよう

にしています。また、就職活動に関する書籍なども取り揃え、希望者には1週間の貸出が可能です。

将来のキャリア形成に向けて、企業や学校で就業体験ができるインターンシップと、リレー講義(様々な業界で活躍中の先輩から働くことの意味や楽しさを学びます)が正規の授業科目となりまし

た。受講希望者は履修要項を確認し、オリエンテーション期間中の説明会(進路就職ガイダンス・キャリア支援説明会・教職課程説明会・教育実習事前指導)に参加してください。



閲覧室風景

## 教職支援センター

教職支援センターは、教員をめざす皆さんの支援をしています。教職経験豊かなアドバイザーから、教員採用試験の受験対策や、教員としての心構え、学習指導案の作成や授業の進め方、生徒との接し方など、的確なアドバイスを受けることができます。また、教育実習や学校ボランティア、学校

インターンシップについての相談をすることもできます。

そのほか、教員採用試験受験対策として、「教員受験特別講習」や「教員希望者ガイダンス(現役教員の体験談を聞く)」を開催する予定です。

さらに、「教職支援センターだより」を発行し、最新の採用情

報・過年度の採用試験の分析・教員になるためのチェックポイントなどを情報提供していきます。

教員を志す皆さんが準備を始めるのは、第1学年からでも早すぎるといったことはありません。教職支援センターを大いに活用してください。

●開室時間 9:00~17:00 (月曜日~金曜日)

教職アドバイザー在室時間 (個別相談に応じています。気軽に訪ねてください)

| 曜日  | 在室時間        |
|-----|-------------|
| 月曜日 | 12:00~16:00 |
| 火曜日 | 13:00~17:00 |
| 水曜日 | 13:00~17:00 |
| 木曜日 | —————       |
| 金曜日 | 13:00~17:00 |

\* 4月~6月は木曜日にも在室しています (13:00~17:00)

●場 所 至誠館2階

●電話 & FAX 075-411-8476

●教職に関する書籍や、各都道府県の求人情報などの資料も取り揃えています。



相談風景

### 教員になるには、どうすればいいの? ②

教職アドバイザー 長谷川 浩三

「教員採用試験に備えての勉強などは忙しくてできない」とか、「受験1年前から少し勉強すればいいだろう」くらいに考えている人はいないでしょうか。最近、教員採用者枠はずいぶん広がってきました。ただし、小学校教員に限ってですが。

今回は、今からできる勉強について述べてみましょう。

#### 信頼される教師になるには (人物重視の採用傾向を踏まえて)

一次試験から面接試験を取り入れる自治体が増加しています。全体(試験を行う都道府県・政令指定都市)の88%にあたる35自治体が集団面接や集団討議を、15自治体が個人面接を行っています。人物を見るには、会話がいちばん確実な方法だからです。そのため面接では

①言葉づかい、話し方、筋道を立

てた説明  
②自分の考えを持っている、話し合いをまとめる力をもっている  
③他人の意見に耳を傾けるなどが試されます。一朝一夕でこのようなことを身に付けることは難しいことです。経験を積むこと以外に対策はないでしょう。大学での部活動・サークル活動・学校インターンシップ・学校ボランティア活動などでリーダーシップを磨く、生徒を指導する方法を学ぶ、児童・生徒と関わりをもって指導性を身につける、さまざまな記事を読む、などは今から始められます。面接試験に備えての学習となり、なによりも、あなた自身の教員としての資質が磨かれます。

#### 即戦力の教師になるには (実践的指導力が求められる現状から)

第2学年になると、各教科の教育法が履修可能となります。特に、

指導案の作り方をしっかり学んでください。最近の指導案には、評価の観点が必要不可欠です。評価項目を挙げ、授業のどこで、どのように評価するのかを示す必要があります。大学の授業で十分に学習しておきましょう。

#### 勉強は何から始めたらいいの? (教員受験特別講習を活用して)

教員採用試験の筆記試験内容は、一般教養・教職教養・専門教科です。従って、どれから手を付けたらいいのか迷ってしまいます。そんな人にお勧めなのが、本学で開講している特別講習です。過去の問題傾向や重点的に取り組むべきポイントなどの指導が受けられます。その学習を経てその後の学習方法を各自組み立てることができます。



## GLOBAL SQUARE

GLOBAL SQUAREでは、学生の留学や外国語学習をサポートするために留学説明会や語学勉強会、留学生との交流イベントを実

施しています。留学や語学学習に少しでも興味のある方は、気軽にお立ち寄りください。みなさんの来室をお待ちしています。



### 開室時間について

今年度より皆さんが利用しやすいように、開室時間を変更し金曜日も開室します。

開室時間：10：30～19：00  
月曜日～金曜日

### ホームページ開設

2007年4月2日(月)よりGLOBAL SQUAREのホームページを開設しました。

GLOBAL SQUAREからのお知らせや勉強会情報、各種イベント

情報をみなさんに発信していきます。ぜひ、アクセスしてください。

<http://web.otani.ac.jp/gs/>

### 留学生のためのバザー

留学生の生活支援を目的にバザーを開催します。バザーは留学生対象で申込制です。留学生は、バザー品展示期間に欲しい品物を書いた申込用紙をGLOBAL SQUAREに提出してください。

日時：

①バザー品展示期間

2007年4月4日(水)～6日(金)

10：30～19：00

②バザー品受取期間

2007年4月9日(月) 16：10～

場所：GLOBAL SQUARE

対象：本学留学生

備考：申し込みが多数あった品物については、抽選等で決定します。

### 留学説明会

留学希望者を対象に留学説明会を開催します。具体的に留学を考えている人から、これから考えようという人まで留学に少しでも興味のある人は積極的に参加してください。

日時：2007年5月10日(木)  
16：10～

場所：マルチメディア演習室  
(響流館3階)

内容：

◎留学全般の説明(留学制度・準備の仕方・危機管理など)

◎留学帰国者の単位認定・諸課程について

◎休学して留学する場合の手続きについて

◎進路を考えるにあたっての留学の時期や留学のメリット

### 語学勉強会

英語、韓国・朝鮮語、中国語、ドイツ語、フランス語の勉強会参加者を募集しています。

詳細はGLOBAL SQUAREへお問い合わせください。

問い合わせ先

E-mail: G-square@sec.otani.ac.jp

# 谷大エリア散策

## 第27回 大垣書店さん

大学のすぐ北側にあるおなじみの大垣書店さんをお訪ねし、店長の奥様・内藤良枝さんにお話を伺いました。



内藤さんご夫妻

### —開店されたのはいつ頃ですか

大垣書店はここが本店で、約60年前に開店しました。当時はもう少し西側、今のNOVAがあるビルにあり、15年前にこの場所に移りました。「本屋は情報の発信源」と考え、地域に根ざしつつ、お客さまのニーズに応じて情報を発信していく書店を目指しています。文化的な書物をメインに据えて、心豊かな生活を送っていただくための一助になりたいです。

### —大学のすぐ近くですね

大変ありがたいです。学生さんにも先生方にもよく利用していただいています。普段とても忙しいのですが、大谷大学がお休みに入ると若干暇になりますので、はっきりわかります。アルバイトにも谷大生の方に来てもらっています。よく頑張ってくれますし、長く続けてもらえるので助かっています。今後も谷大生の方にはぜひアルバイトに来ていただきたいので、よろしく願います。



「ファウスト 伝説と作品」特別フェア

### —どんなジャンルの本がよく売れますか

まずコミックですね。学生さんには特に。コミックをノベライズしたものや、映画化・ドラマ化された本は大変よく売れます。メディアの影響力はすごいものです。

次によく売れるのがHOW TO本で、なかでも人生や生き方をテーマにしたものが多いですね。昔なら身近な人に相談した事でしょうが、今は相談できる人がいないのか、人に打ち明けるよりも本で答えを探されるのでしょうか。また近年の傾向としてロングセラーが減少しています。流行の移り変わりが早くなり、じっくり売れ続ける本が少なくなりました。

またここ数年、京都に関する本がたくさん出版されよく売れています。観光客の方に限らず京都に住んでいる方も買っていかれます。京都検定の影響もあって、自分の街について意外と知らないことに気付き、興味を持たれるようです。2階には昔から京都コーナーを設け、観光客向けではない、地元の人が読んで面白いと思える本を揃えています。また専門書を必要とされる先生方のニーズに応えたいと、同じく2階にささやかながら人文書のコーナーを設けています。

### —活字離れと言われる一方で、若手作家の活躍が目立っていますが、若い人の読書についてはいかがですか

携帯小説が若い人に大変人気です。携帯で読めて、それを本にしたものもよく売れています。その影響か、自分でも簡単に書けると思う人は確かに増えていますね。世の中が変遷していくのは当然で、その時代に合ったかたちで文学や書物は残っていくのではないのでしょうか。若い人が自作の本を置いてほしいと依頼に来られるこ

ともありますし、なかなか捨てたものではありません。いずれは、こうした志のある若い人たちを発掘し、出版社との橋渡しなどの支援もできればと考えています。

### —書店の仕事をされてどのようなことにやりがいを感じられますか

世間で売れている本、売るために仕入れた本ではなく、自分で良いと思い、皆さんに読んでもらいたいと願って仕入れた本が売れたときは大変嬉しいです。出版社から送られてくる資料に目を通し、これはと思った本はできるだけ仕入れるようにしています。

### —大谷大学博物館の展覧会にもご協力いただいたそうですね

—昨年から大谷大学博物館での特別展「ファウスト 伝説と作品」、「大拙 その人と学問」とタイアップした特別フェアを開催させていただき、おかげさまで大盛況でした。大変感謝しています。普段なら哲学や仏教学の専門書はそれほど売れるわけではないのですが、このときは何度も追加で仕入れたほどでした。これからもこのような優れた企画に参加させていただければありがたいです。売り上げの問題だけではなく、大学と地域の書店が協力してできたことを心から嬉しく思っています。「近隣 昔の写真展」も大好評でしたね。ぜひ3回、4回と続けていってください。大学と地域の人々が一緒になって、この北大路地区を盛り上げていけるような企画を私たちも考えていきたいですね。

### —ありがとうございました



## 写真でふりかえる 大谷大学今昔



竣工当時の大谷大学



1961(昭和36)年 尋源館(旧本館)



建設中の尋源館(旧本館)

### 尋源館(旧本館)

東館 紹見

本学のシンボル尋源館(旧本館)は、一九一三(大正二)年の竣工である。これより十一年前、すでに二百年余りの歴史を持つていた東本願寺の学寮は、伝統的な学びを受けつぐ高倉大学寮と、近代の思想・学問に対峙する学びをめざす真宗大学とに分化し、大学が東京・巣鴨に開学された。その後、一九一一年(明治四四)年、両者は鋭い緊張関係を保ったまま再び京都の地で統合され真宗大谷大学と名乗ることとなり、現在地へ新築移転がなされたのである。

本館は写真に見るとおりの農地の只中に、一九二二(明治四五)年六月、講堂・図書館などとともに工事に着手され、翌年一月九日に落成式が挙行されている。設計は京都帝大講師清水技師ら気鋭の建築家が担当した。ルネサンス様式を基調とし、赤煉瓦をベースに正面装飾や窓アーチに白御影石を用いる当時流行のスタイルで、大正期洋風建築としては最古の遺例に属する。

玄関を入ると、左に学長室や事務室、右に教員室・会議室などが並び、二階には研究室などがあつた。卒業生の一人は、窓辺に雪の降り積む冬の日、凍える手をストーブで温めつつ、テキストを筆写した日々が忘れられない、と語っている。

大正・昭和と激動の時代を通して、本館は尖塔を仰ぎ見る幾多の学生を育み続けてきた。研究室が現聞思館(一九六一年竣工)に、学長室など本部機能が一号館(一九六五年竣工)に移されるまで、まさに本館と呼ぶにふさわしい本学の中心的な建物であつた。

上の写真は、一九六一(昭和三六)年に、本学南側の京都市北消防署室町出張所にあつた望楼上から撮影されたものである。本館後方には新築成ったばかりの図書館(現至誠館)書庫、聞思館が見える。さらに後ろには、関西電力のビルも顔を覗かせるが、当時の北大路沿いには、まだ他に高い建物もなく、市電の烏丸車庫や、洛北のたたずまい、遠く北山の山並までが見られる貴重な一枚である。

一九八二(昭和五七)年、学園総合整備計画にしたがい、本館は両翼の地を新築の博綜館に大きく譲り、「尋源館」と名乗ることになった。大谷大学がこの地に礎を定めて以来、朝には遥か比叡が峰にそき立つ青雲を仰ぎ、夕べにはほの暮れゆく西空の彼方に思いを致しつつ、私たちを育んでくれた尋源館は、もうあと五年で満百歳を迎える。今年も多くの新しい学友を迎え、私たち一人ひとりの学びを見守ってくれることだろう。

(ひがしだて しょうけん 講師 日本仏教史(古代・中世))

# 研究室だより

## 総合研究室から

4月から6月までの研究室の開室時間は以下のとおりです。  
なお、開室日や開室時間の変更は、ホームページ・学内掲示板でお知らせします。  
ご確認ください。

| 4月 | 日  | 月               | 火  | 水  | 木  | 金                | 土  |
|----|----|-----------------|----|----|----|------------------|----|
|    | 1  | 2 <sup>*1</sup> | 3  | 4  | 5  | 6                | 7  |
|    | 8  | 9               | 10 | 11 | 12 | 13               | 14 |
|    | 15 | 16              | 17 | 18 | 19 | 20               | 21 |
|    | 22 | 23              | 24 | 25 | 26 | 27 <sup>*2</sup> | 28 |
|    | 29 | 30              |    |    |    |                  |    |

| 5月 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    | 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
|    | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 |
|    | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
|    | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|    | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |    |    |

| 6月 | 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金               | 土  |
|----|----|----|----|----|----|-----------------|----|
|    |    |    |    |    |    | 1 <sup>*3</sup> | 2  |
|    | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8               | 9  |
|    | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15              | 16 |
|    | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22              | 23 |
|    | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29              | 30 |

黒字は響流館の休館日。

緑は、10時開室 17時30分閉室

青は、9時開室 19時30分閉室

※1 4月3日(火)は入学式のため閉室になります。

※2 4月28日(土)は電気設備法定点検のため、閉室になります。

※3 6月2日(土)は宗祖誕生会のため、13時開室になります。

## 短期仏教科研究室から

『仏教研究紀要』第29号が発刊されました。  
ご希望の方は、短期仏教科研究室までお越しください。

# 学会だより

### 大谷学会

春季公開講演会を開催します。

日時 5月24日(木) 12時50分～

会場 本学講堂

講師 岩井 克人 氏

(東京大学教授)

沙加戸 弘 教授

講題等は、掲示・ポスターにて  
ご確認ください。

当日、授業のある方には欠席事  
由証明書を交付します。

### 真宗学会

5月中に新入会員歓迎会及び総会  
を開催します。

詳細は後日掲示しますので積極  
的に参加してください。

### 仏教学会

新入会員歓迎会を開催します。

日時 4月20日(金) 10時40分～

場所 メディアホール(響流館3階)

講師 仏教学会長

織田 顕祐 教授

講題 「仏教学の可能性」

詳細については、後日掲示など  
でご連絡します。

### 哲学会

総会および春季研究会を開催しま  
す。

日時 5月26日(土) 時間未定

講題 未定

詳細については、後日掲示など  
でご連絡します。

### 宗教学会

「大拙忌」記念公開講演会を開催  
します。

日時 7月11日(水)

講師 内田 樹 氏

(神戸女学院大学教授)

講題 未定

詳細については、後日掲示など  
でご連絡します。

### 日本史の会

(国史学会・日本仏教史学会)

日本史の会5月例会を開催します。

日時 5月26日(土) 14時00分～

場所 演習室4(響流館3階)予定

報告者 溝口 純一 氏

(滋賀県立大学大学院生)

題目 未定



## 大谷中学校・高等学校からのお知らせ

大谷中学校入学試験が終わりましたので、結果等をお知らせいたします。また、高等学校の出願状況もお知らせいたします。

### 大谷中学校入学試験結果（人数編）

| 募集人数  | 入試<br>区分 | 志願者数 |     |     | 受験者数 |     |     | 合格者数 |    |     | 合格倍率 |     | 入学者数 |    |    |
|-------|----------|------|-----|-----|------|-----|-----|------|----|-----|------|-----|------|----|----|
|       |          | 男子   | 女子  | 合計  | 男子   | 女子  | 合計  | 男子   | 女子 | 合計  | 男子   | 女子  | 男子   | 女子 |    |
| 105名  | A日程      | A1   | 106 | 59  | 165  | 103 | 58  | 161  | 53 | 37  | 90   | 1.9 | 1.6  | 23 | 12 |
|       |          | A2   | 17  | 15  | 32   | 17  | 15  | 32   | 4  | 8   | 12   | 4.3 | 1.9  | 2  | 4  |
|       |          | 合計   | 123 | 74  | 197  | 120 | 73  | 193  | 57 | 45  | 102  |     |      | 25 | 16 |
|       | B日程      | B1   | 78  | 41  | 119  | 59  | 22  | 81   | 37 | 15  | 52   | 1.6 | 1.5  | 28 | 13 |
|       |          | B2   | 11  | 5   | 16   | 10  | 4   | 14   | 5  | 3   | 8    | 2.0 | 1.3  | 5  | 3  |
|       |          | 合計   | 89  | 46  | 135  | 69  | 26  | 95   | 42 | 18  | 60   |     |      | 33 | 16 |
| A/B合計 |          | 212  | 120 | 332 | 189  | 99  | 288 | 99   | 63 | 162 | 1.9  | 1.6 | 58   | 32 |    |

合計90名

### （点数編）

| A1    |     | 総点    | 国語    | 算数   | 社会   | 理科   |
|-------|-----|-------|-------|------|------|------|
|       | 配点  | 500   | 150   | 150  | 100  | 100  |
|       | 平均点 | 291.5 | 90.7  | 84.4 | 60.3 | 56.1 |
|       | 男子  | 283.5 | 84.8  | 84.0 | 59.2 | 55.5 |
|       | 女子  | 305.8 | 101.1 | 85.2 | 62.3 | 57.2 |
| 合格最低点 |     | 300点  |       |      |      |      |

| B1    |     | 総点    | 国語   | 算数   | 作文   |
|-------|-----|-------|------|------|------|
|       | 配点  | 360   | 150  | 150  | 60   |
|       | 平均点 | 169.9 | 80.4 | 84.4 | 30.9 |
|       | 男子  | 150.5 | 73.7 | 51.6 | 25.2 |
|       | 女子  | 192.0 | 88.0 | 66.7 | 37.3 |
| 合格最低点 |     | 216点  |      |      |      |

| B1    |     | 総点    | 国語    | 算数   | 社会   | 理科   |
|-------|-----|-------|-------|------|------|------|
|       | 配点  | 400   | 150   | 150  | 100  | 100  |
|       | 平均点 | 193.1 | 85.8  | 49.0 | 50.1 | 50.7 |
|       | 男子  | 283.5 | 84.3  | 49.6 | 49.4 | 52.2 |
|       | 女子  | 305.8 | 101.1 | 47.3 | 52.0 | 46.8 |
| 合格最低点 |     | 200点  |       |      |      |      |

↳社会と理科は、得点の高い方を採用。

※B2入試は、小学校5年・6年の内申点と、当日の面接及び作文の総合評価で決定しています。

### 大谷高等学校志願者状況

（前期入学試験は2月9日、後期入学試験は2月11日に実施しました。）

| 志願者数 | 前期  |     | 後期  |     | 総数 |
|------|-----|-----|-----|-----|----|
|      | 男子  | 女子  | 男子  | 女子  |    |
|      | 877 | 712 | 206 | 178 |    |

### 大谷高等学校前・後期入学試験合格者数

（専願・併願併せて）

| バタビアマスタークラス |    | バタビアコクラス |     | インテグラルコース |     | 総数   |      |
|-------------|----|----------|-----|-----------|-----|------|------|
| 男子          | 女子 | 男子       | 女子  | 男子        | 女子  | 男子   | 女子   |
| 133         | 92 | 404      | 355 | 427       | 350 | 964名 | 797名 |

## 九州大谷短期大学からのお知らせ

### 表現学科演劇放送フィールドに「ミュージカルコース」を新設!

西日本で唯一、劇場中心の実践教育で学べる表現学科演劇放送フィールドに、本格的にミュージカルを学ぶコースが開設されます。

第一級の演出家による演技指導、プロの作曲家による歌唱指導、ジャズダンスからコンテンポラリーダンスまで、基礎がすべて学べ

ます。

詳しくは広報室までお問い合わせください。

九州大谷短期大学広報室  
Tel 0942-53-9900  
Fax 0942-53-9901  
Mail: kouhou@kyushuotani.ac.jp



## 学生相談室から



最近のテレビ放送に怖さを感じているのは私だけではないだろう。正月早々に、関西テレビが放映した『あるある大事典II』の根拠のない捏造番組もその一つではあるが、視聴率最優先の発想から、日本中が意識なき差別の加害者にさせられている怖さがある。それは、最近やたら多いクイズ形式のバラエティ番組である。それらの多くは、無知のキャラを売りにするお笑いタレントを出演させ、その無知さが視聴者の笑いを誘い、視聴率を稼ぐトリック番組である。

これら番組での視聴者の笑いは、何を意味しているのだろうか。「自分よりも無知な人間がいた」という安心感と彼らを見下げ差別する気持ち、笑いになっているのではないだろうか。そして、視聴者の多くは、さわやかな気分を味わう。差別して笑い、さわやかさを感じることも、日常的に家族揃ってお茶の間でなされ、視聴者は、知らないうちに、意識なき差別の加害者にされているのである。それほど日常生活で見下げられ、その腹いせに誰かを見返したい人が多くなっているのだ

## テレビ・トリックの怖さ

讓 西 賢

### 学生相談室の開室について

| 場 所              | 曜 日 | 学生相談員            | 相談日時                     |
|------------------|-----|------------------|--------------------------|
| 学生相談室<br>(博綜館1階) | 月曜日 | 谷口 奈青理<br>神田 敬子  | 10時30分～16時00分            |
|                  | 火曜日 | 西澤 伸太郎           | 10時30分～16時00分            |
|                  | 水曜日 | 宇佐 晋一<br>(神経科校医) | 第2週・第4週<br>13時00分～16時00分 |
|                  | 木曜日 | 讓 西賢             | 10時30分～16時00分            |
|                  | 金曜日 | 久保 聡史<br>菊岡 千夏   | 10時30分～16時00分            |

だろうか。自覚なきいじめの根深さを感じずにはいられない。

「他者を差別することは、自分のところに傷をもっている証である」と、皆が気づくべき時が来ているのではなからうか。

学生相談室は、自己のこころを見つめるあなたのために開かれている。

(ゆずり さいけん)

## 出版物紹介

### ◎『親鸞の信仰と思想』

—真宗・われらの大地—

小野蓮明 著

法藏館 刊

(2007.2) 322頁



### ◎『熊野—その信仰と』

文学・美術・自然』

国文学解釈と鑑賞 別冊

林雅彦 編

豊島修 分担執筆

至文堂 刊

(2007.1) 296頁

## 2007年度前期生涯学習講座のご案内

### 開放セミナー

#### ◎維摩経をよむ ー仏教経典をよむ①ー

「仏教は難しい」「お経は何を言っているか、さっぱり分かん」。それもそのはずです。漢文の経典は1500年以上も前に生まれたものですから。しかし仏教経典に書かれている内容を読むことはもちろん、その経典が生まれた時代と文化、さらにどのような道をたどって日本に伝来したのかなど背景を知ることで、経典に対する理解は深まることでしょう。

今回は『維摩経』を取り上げ、仏弟子と維摩居士のやりとり、そこに潜む大乘の思想をふまえながら、『維摩経』が問いかけるものを、読み解いていきます。

講師：織田 顕祐（大谷大学教授）：コーディネーター

宮下 晴輝（大谷大学教授）

采翠 晃（大谷大学講師）

日 程：

- ① 5月10日(木) 浄土はどこにあるのか インド仏教と維摩経①
- ② 5月17日(木) 浄土はどこにあるのか インド仏教と維摩経②
- ③ 5月24日(木) 菩薩の生活 聖徳太子と維摩経①
- ④ 5月31日(木) 菩薩の生活 聖徳太子と維摩経②
- ⑤ 6月7日(木) 汚泥に咲く華 鳩摩羅什と維摩経①
- ⑥ 6月14日(木) 汚泥に咲く華 鳩摩羅什と維摩経②

時 間：17：50～19：20

会 場：響流館3F メディアホール

定 員：100名

受 講 料：6,000円

申込締切：4月26日(木) 当日消印有効

#### ◎宗教と哲学 ー日本を代表する宗教哲学者の思想を知るー

宗教を理解するためには、それを自己において思索することが求められます。その意味で、宗教、とくに信はその内に哲学を含んでいなければなりません。そのことを親鸞は、「この人の信心、聞より生じて思より生ぜず。この故になづけて信不具足とす」という『涅槃経』の言葉を引いて、強調しています。清沢満之を始め、西田幾多郎、鈴木大拙、田邊元、曾我量深、西谷啓治など日本を代表する宗教哲学者が宗教的世界を如何に思索したかをたどってみたいと思います。

講師：長谷 正當（大谷大学教授）

日 程：

- ① 6月13日(水) 西田幾多郎 人生の悲哀と「場所の論理」
- ② 6月20日(水) 田邊 元 「死の哲学」と聖徒の交わり
- ③ 6月27日(水) 曾我 量深 七地沈空と還相回向
- ④ 7月4日(水) 西谷 啓治 ニヒリズムと空の立場

時 間：17：50～19：20

会 場：響流館3F メディアホール

定 員：100名

受 講 料：4,000円

申込締切：6月6日(水) 当日消印有効

#### ◎柳田國男の遺産 ー教育との関わりでー

柳田國男(1875-1962)は、農政学から民俗学へと至る学問形成の過程で、教育への関心を一貫して持ち続けてきました。特に1930年代は、義務教育の意味と効果を問い直すため、国語教育や歴史教育について論じながら、日本における教育観を探り、前代教育に注目しました。そして戦後は、社会科教育にも関わり、学校教育をとらえ直す視点を多数提供してきたのです。本講座では、柳田國男と教育との関わりを教育学の立場から明らかにしていきたいと思ひます。

講師：関口 敏美（大谷大学准教授）

日 程：

- ① 5月25日(金) 柳田國男の生涯
- ② 6月1日(金) 「学制」以前・以後ー前代教育と学校教育ー
- ③ 6月8日(金) 関心の所在ーなぜ「教育」に関心を持ったのかー
- ④ 6月15日(金) 『国語の将来』ー学校国語教育を批判するー
- ⑤ 6月22日(金) 『日本の社会』ー民俗学で日本の社会科を創るー

時 間：17：50～19：20

会 場：響流館3F メディアホール

定 員：100名

受 講 料：5,000円

申込締切：5月18日(金) 当日消印有効

## 紫明講座

### ◎浄土真宗 ーなぜ浄土なのだろうかー

「傍若無人」という言葉があります。「傍らに人なきがごとし」という意味ですが、人間は決して一人で生きているわけではありません。どんな人も共に生きているのです。そして共に生きることができなくなれば、我々一人ひとりも生きていけなくなるのです。

浄土は「俱会一処」という言葉で表されているように、共に生きることのできる世界です。親鸞聖人の浄土の教えに学びながら、浄土を明らかにすることができたらと思います。

講 師：中川 皓三郎（大谷大学教授）

日 程：

- ① 7月12日(木) 人間の問題
- ② 7月19日(木) ともに生きる
- ③ 7月26日(木) 浄土真宗

時 間：17：50～19：20

会 場：響流館3F メディアホール

定 員：100名

受 講 料：3,000円

申込締切：7月5日(木) 当日消印有効

### ◎人はばけもの 世にない物はなし ー『西鶴諸国はなし』を歩くー

俳諧から出発し、浮世草子の世界を開いた井原西鶴は、人間観察の鋭利さ、という点で他の追随を許しません。

人の愛欲を描いた好色物から一転、この『西鶴諸国はなし』で、摩訶不思議な説話を絵巻の如く繰り広げながら、西鶴の眼は人間を射抜いてゆきます。

たどりついたところ、「人はばけもの、世にないものはなし」。人はどこがばけものなのでしょう。なぜ、世にないものはない、のでしょうか。

講 師：沙加戸 弘（大谷大学教授）

日 程：

- ① 6月21日(木) 『西鶴諸国はなし』
- ② 6月28日(木) 井原西鶴の眼
- ③ 7月5日(木) 人はばけもの

時 間：17：50～19：20

会 場：響流館3F メディアホール

定 員：100名

受 講 料：3,000円

申込締切：6月14日(木) 当日消印有効

## 博物館セミナー

### ◎はじめて学ぶ古文書読み解き講座

博物館の展覧会で、いつも古文書のところは通り過ぎていませんか。解説だけでなく、原文をそのまま読みたいと思いませんか。

古文書を読み解くことは、そこに記された内容だけでなく、古文書が書き残された歴史的な背景を考えてみるおもしろさがあります。

このセミナーでは、近世の古文書をテキストに、解説のテクニックと『くずし字解読事典』の使い方を修得し、確実に読み解いていくことを目的としています。

古文書の読解は慣れが必要ですので、毎回、宿題を出して自宅でも練習していただきます。

講 師：平野 寿則（大谷大学講師）

日 程：

- ① 5月12日(土)
- ② 5月26日(土)
- ③ 6月9日(土)
- ④ 6月23日(土)
- ⑤ 7月7日(土)
- ⑥ 7月21日(土)

時 間：1 講時 10：00～11：00

2 講時 11：10～12：10

会 場：響流館3F マルチメディア演習室

定 員：30名

受 講 料：12,000円

申込締切：4月10日(火) 必着

申込について：当セミナーは多数のお申込が予想されます。応募者多数の場合は抽選とさせていただきますので、その旨あしからずご了承ください。



## 湖西セミナー

### ◎「近江大津宮と近江京—その所在と構造」

近江大津宮の所在については、江戸時代から多くの見解が示されてきましたが、昭和49(1974)年11月に錦織（にしこおり）の字「御所ノ内」で大型の掘立柱建物跡が発見されると、このあたりが宮の中心部と考えられるようになりました。これ以降、周辺でも関連する建物跡が発見され、宮の建物の復元が行われてきています。また、これと相俟って、天智天皇の近江の都は「大津京」として喧伝されるようになりました。しかしながら、現在の研究には、多くの問題が含まれています。この講座では、これまでの研究を整理し、今後の課題を明らかにしたいと考えます。

講師：櫻井 信也（大谷大学非常勤講師）

日程：

- ① 5月19日(土) 近江大津宮と近江京の名称
- ② 6月2日(土) 近江大津宮の所在
- ③ 6月16日(土) 近江大津宮錦織遺跡の建物復元
- ④ 6月30日(土) 近江京の復元
- ⑤ 7月7日(土) 近江大津宮と周辺寺院
- ⑥ 7月14日(土) 現地フィールドワーク

時間：①～⑤14：30～16：00

⑥13：00～16：00（予定）

定員：30名

会場：湖西キャンパスセミナーハウス

受講料：①講座のみ参加 5,000円

②講座+フィールドワーク 6,000円

申込締切：5月11日(金)当日消印有効

後援：大津市／大津市教育委員会

#### フィールドワーク予定

崇福寺跡、南滋賀町廃寺跡、近江神宮、近江大津宮錦織遺跡など



詳細を記したパンフレットをご希望の方は、ハガキ、ファックス、Eメールいずれかの方法にて、右記までお問合せください。

問合先 大谷大学教育研究支援課 KO係  
〒603-8143 京都市北区小山上総町  
TEL: 075-411-8161 FAX: 075-411-8162  
MAIL: [opensemi@sec.otani.ac.jp](mailto:opensemi@sec.otani.ac.jp)

# 2007年度入学試験 結果

## 一般入試 [第1期] 結果

### ●文学部 (3教科型)

| 学部          | 学 科            | 募集人員 | 志願者数      | 受験者数      | 合格者数      | 倍率  | 合格者得点 |     |
|-------------|----------------|------|-----------|-----------|-----------|-----|-------|-----|
|             |                |      |           |           |           |     | 最高点   | 最低点 |
| 文<br>学<br>部 | 真宗学科           | 16   | 19 (4)    | 19 (4)    | 19 (4)    | 1.0 | 361   | 144 |
|             | 仏教学科<br>[第2志望] | 14   | 8 (3)     | 7 (2)     | 7 (2)     | 1.0 | 287   | 166 |
|             | 哲学科            | 14   | 42 (12)   | 41 (12)   | 28 (10)   | 1.5 | 373   | 223 |
|             | 社会学科           | 35   | 218 (82)  | 213 (80)  | 94 (50)   | 2.3 | 355   | 251 |
|             | 史学科            | 20   | 165 (49)  | 162 (49)  | 66 (23)   | 2.5 | 359   | 280 |
|             | 文学科            | 14   | 97 (61)   | 96 (60)   | 60 (41)   | 1.6 | 350   | 256 |
|             | 国際文化学科         | 20   | 72 (29)   | 71 (28)   | 48 (24)   | 1.5 | 345   | 226 |
|             | 人文情報学科         | 20   | 42 (16)   | 40 (15)   | 36 (15)   | 1.1 | 326   | 184 |
|             | 合計<br>[第2志望]   | 153  | 663 (256) | 649 (250) | 358 (169) | —   | —     | —   |

### ●文学部 (2教科型) ・短期大学部

| 学部                | 学 科                   | 募集人員          | 志願者数      | 受験者数      | 合格者数      | 倍率     | 合格者得点 |     |
|-------------------|-----------------------|---------------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|-----|
|                   |                       |               |           |           |           |        | 最高点   | 最低点 |
| 文<br>学<br>部       | 真宗学科                  | 16            | 31 (3)    | 31 (3)    | 29 (3)    | 1.1    | 169   | 71  |
|                   | 仏教学科<br>[第2志望]        | 14            | 20 (1)    | 20 (1)    | 15 (0)    | 1.3    | 130   | 86  |
|                   | 哲学科                   | 14            | 65 (22)   | 61 (19)   | 41 (16)   | 1.5    | 167   | 114 |
|                   | 社会学科                  | 25            | 254 (100) | 245 (94)  | 70 (41)   | 3.5    | 182   | 136 |
|                   | 史学科                   | 8             | 47 (17)   | 45 (17)   | 18 (8)    | 2.5    | 179   | 137 |
|                   | 文学科                   | 14            | 113 (45)  | 110 (44)  | 52 (32)   | 2.1    | 184   | 131 |
|                   | 国際文化学科                | 20            | 119 (67)  | 119 (67)  | 80 (55)   | 1.5    | 169   | 121 |
|                   | 人文情報学科                | 20            | 80 (29)   | 78 (29)   | 63 (28)   | 1.2    | 175   | 92  |
|                   | 合計<br>[第2志望]          | 131           | 729 (284) | 709 (274) | 368 (183) | —      | —     | —   |
|                   | 短<br>期<br>大<br>学<br>部 | 仏教科<br>[第2志望] | 10        | 21 (4)    | 20 (4)    | 20 (4) | 1.0   | 154 |
| 文化学科<br>[第2志望]    |                       | 20            | 39 (35)   | 36 (32)   | 34 (31)   | 1.1    | 170   | 84  |
| 幼児教育保育科<br>[第2志望] |                       | 30            | 176 (134) | 171 (130) | 13 (10)   | —      | —     | 93  |
| 合計<br>[第2志望]      |                       | 60            | 236 (173) | 227 (166) | 103 (74)  | —      | —     | —   |
|                   |                       |               |           |           | 17 (11)   | —      | —     | —   |

[注1] ( ) 内数字は女子内数。

[注2] 文学部2教科型と短期大学部は200点満点、文学部3教科型は400点満点。

## 一般入試 [第2期] 結果

| 学部                | 学 科                   | 募集人員          | 志願者数      | 受験者数      | 合格者数     | 倍率    | 合格者得点 |     |
|-------------------|-----------------------|---------------|-----------|-----------|----------|-------|-------|-----|
|                   |                       |               |           |           |          |       | 最高点   | 最低点 |
| 文<br>学<br>部       | 真宗学科<br>[第2志望]        | 4             | 6 (1)     | 6 (1)     | 6 (1)    | 1.0   | 78    | 42  |
|                   | 仏教学科<br>[第2志望]        | 4             | 2 (1)     | 2 (1)     | 2 (1)    | 1.0   | 56    | 53  |
|                   | 哲学科                   | 4             | 30 (10)   | 29 (10)   | 9 (3)    | 3.2   | 86    | 72  |
|                   | 社会学科                  | 8             | 74 (23)   | 71 (23)   | 27 (11)  | 2.6   | 89    | 68  |
|                   | 史学科                   | 4             | 21 (7)    | 21 (7)    | 6 (4)    | 3.5   | 86    | 73  |
|                   | 文学科                   | 4             | 38 (13)   | 37 (13)   | 13 (6)   | 2.8   | 89    | 73  |
|                   | 国際文化学科                | 5             | 67 (26)   | 65 (25)   | 30 (17)  | 2.2   | 92    | 67  |
|                   | 人文情報学科                | 5             | 53 (8)    | 52 (8)    | 10 (3)   | 5.2   | 87    | 72  |
|                   | 合計<br>[第2志望]          | 38            | 291 (89)  | 283 (88)  | 103 (46) | —     | —     | —   |
|                   | 短<br>期<br>大<br>学<br>部 | 仏教科<br>[第2志望] | 5         | 6 (2)     | 6 (2)    | 6 (2) | 1.0   | 74  |
| 文化学科<br>[第2志望]    |                       | 5             | 20 (14)   | 20 (14)   | 19 (13)  | 1.1   | 83    | 57  |
| 幼児教育保育科<br>[第2志望] |                       | 5             | 43 (27)   | 43 (27)   | 18 (12)  | 2.4   | 86    | 76  |
| 合計<br>[第2志望]      |                       | 15            | 69 (43)   | 69 (43)   | 43 (27)  | —     | —     | —   |
|                   |                       |               |           |           | 6 (3)    | —     | —     | —   |
| 総計<br>[第2志望]      |                       |               | 360 (132) | 352 (131) | 146 (73) | —     | —     | —   |

[注1] ( ) 内数字は女子内数。

[注2] 得点は外国語・国語のいずれか1教科を試験場で選択。100点満点。

## 一般入試 [大学入試センター試験利用入試・前期] 結果

| 学部          | 学 科         | 募集人員 | 志願者数      | 受験者数      | 合格者数     | 倍率    |
|-------------|-------------|------|-----------|-----------|----------|-------|
| 文<br>学<br>部 | 真宗学科        | 2    | 30 (3)    | 30 (3)    | 21 (1)   | 1.4   |
|             | 仏教学科        | 2    | 11 (2)    | 11 (2)    | 7 (1)    | 1.6   |
|             | 哲学科         | 2    | 36 (17)   | 36 (17)   | 7 (6)    | 5.1   |
|             | 社会学科        | 4    | 77 (36)   | 76 (36)   | 10 (4)   | 7.6   |
|             | 史学科         | 2    | 72 (28)   | 72 (28)   | 9 (4)    | 8.0   |
|             | 文学科         | 2    | 77 (48)   | 77 (48)   | 13 (10)  | 5.9   |
|             | 国際文化学科      | 3    | 37 (23)   | 37 (23)   | 15 (11)  | 2.5   |
|             | 人文情報学科      | 3    | 23 (9)    | 22 (9)    | 7 (6)    | 3.1   |
|             | 文学部 合計      | 20   | 363 (166) | 361 (166) | 89 (43)  | —     |
|             | 大<br>学<br>部 | 仏教科  | 2         | 5 (0)     | 5 (0)    | 3 (0) |
| 文化学科        |             | 2    | 12 (10)   | 12 (10)   | 12 (10)  | 1.0   |
| 幼児教育保育科     |             | 4    | 33 (30)   | 33 (30)   | 6 (6)    | 5.5   |
| 短期大学部 合計    |             | 8    | 50 (40)   | 50 (40)   | 21 (16)  | —     |
| 総計          |             | 28   | 413 (206) | 411 (206) | 110 (59) | —     |

## 一般入試 [大学入試センター試験利用入試・後期] 結果

| 学部          | 学 科    | 募集人員 | 志願者数    | 受験者数    | 合格者数   | 倍率  |
|-------------|--------|------|---------|---------|--------|-----|
| 文<br>学<br>部 | 真宗学科   | 2    | 0 (0)   | —       | —      | —   |
|             | 仏教学科   | 2    | 1 (0)   | 1 (0)   | 1 (0)  | 1.0 |
|             | 哲学科    | 2    | 5 (2)   | 5 (2)   | 2 (0)  | 2.5 |
|             | 社会学科   | 4    | 6 (2)   | 6 (2)   | 4 (2)  | 1.5 |
|             | 史学科    | 2    | 1 (1)   | 1 (1)   | 1 (1)  | 1.0 |
|             | 文学科    | 2    | 5 (3)   | 5 (3)   | 2 (1)  | 2.5 |
|             | 国際文化学科 | 2    | 4 (3)   | 4 (3)   | 2 (2)  | 2.0 |
|             | 人文情報学科 | 2    | 6 (4)   | 6 (4)   | 2 (2)  | 3.0 |
|             | 合計     | 18   | 28 (15) | 28 (15) | 14 (8) | —   |

[注1] ( ) 内数字は女子内数。

## 大学院春季試験 (修士・博士後期) 結果

| 課程                         | 専 攻              | 募集人員             | 区分      | 志願者数    | 受験者数   | 合格者数  | 倍率  |
|----------------------------|------------------|------------------|---------|---------|--------|-------|-----|
| 修<br>士<br>課<br>程           | 真宗学              | 定員(20)の<br>50%程度 | 本学      | 12 (0)  | 12 (0) | 9 (0) | 1.5 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 6 (2)   | 6 (2)  | 3 (1) |     |
|                            | 仏教学              | 定員(20)の<br>50%程度 | 本学      | 9 (2)   | 9 (2)  | 5 (2) | 2.0 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 1 (1)   | 1 (1)  | 0 (0) |     |
|                            | 哲学               | 定員(10)の<br>50%程度 | 本学      | 3 (1)   | 3 (1)  | 2 (1) | 1.3 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 1 (0)   | 1 (0)  | 1 (0) |     |
|                            | 社会学              | 定員(10)の<br>50%程度 | 本学      | 1 (0)   | 1 (0)  | 1 (0) | 1.0 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) |     |
|                            | 仏教文化             | 定員(20)の<br>50%程度 | 本学      | 3 (1)   | 3 (1)  | 2 (1) | 1.5 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) |     |
| 国際文化                       | 定員(10)の<br>50%程度 | 本学               | 0 (0)   | 0 (0)   | 0 (0)  | —     |     |
|                            |                  | 他大学              | 0 (0)   | 0 (0)   | 0 (0)  |       |     |
| 合 計                        | 定員(90)の<br>50%程度 | 本学               | 28 (4)  | 28 (4)  | 19 (4) | —     |     |
|                            |                  | 他大学              | 8 (3)   | 8 (3)   | 4 (1)  |       |     |
|                            |                  | 計                | 36 (7)  | 36 (7)  | 23 (5) |       |     |
| 博<br>士<br>後<br>期<br>課<br>程 | 真宗学              | 3                | 本学      | 6 (0)   | 6 (0)  | 5 (0) | 1.2 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) |     |
|                            | 仏教学              | 3                | 本学      | 3 (2)   | 3 (2)  | 2 (1) | 1.5 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) |     |
|                            | 哲学               | 3                | 本学      | 1 (0)   | 1 (0)  | 0 (0) | —   |
|                            |                  |                  | 他大学     | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) |     |
|                            | 社会学              | 3                | 本学      | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) | —   |
|                            |                  |                  | 他大学     | 0 (0)   | 0 (0)  | 0 (0) |     |
|                            | 仏教文化             | 3                | 本学      | 4 (1)   | 4 (1)  | 1 (0) | 2.5 |
|                            |                  |                  | 他大学     | 1 (0)   | 1 (0)  | 1 (0) |     |
| 国際文化                       | 3                | 本学               | 1 (0)   | 1 (0)   | 1 (0)  | 1.0   |     |
|                            |                  | 他大学              | 0 (0)   | 0 (0)   | 0 (0)  |       |     |
| 合 計                        | 18               | 本学               | 15 (3)  | 15 (3)  | 9 (1)  | —     |     |
|                            |                  | 他大学              | 1 (0)   | 1 (0)   | 1 (0)  |       |     |
|                            |                  | 計                | 16 (3)  | 16 (3)  | 10 (1) |       |     |
| 総 計                        |                  | 本学               | 43 (7)  | 43 (7)  | 28 (5) | —     |     |
|                            |                  | 他大学              | 9 (3)   | 9 (3)   | 5 (1)  |       |     |
|                            |                  | 計                | 52 (10) | 52 (10) | 33 (6) |       |     |

(注) ① ( ) 内数字は女子内数。 ②倍率は、受験者数を合格者数で除したものの。  
【合格者 (他大学出身者)】

### ◆ [修士課程]

各1名 九州大学・札幌国際大学・同志社大学・龍谷大学

### ◆ [博士後期課程]

各1名 大正大学大学院

## 文学部第3学年一般編入学試験結果

| 学 科    | コース    | 区分    | 志願者数   | 受験者数   | 合格者数   | 倍率  |
|--------|--------|-------|--------|--------|--------|-----|
| 真宗     | 真宗学    | 本学    | 10 (2) | 10 (2) | 8 (2)  | 1.4 |
|        |        | 他大学   | 8 (0)  | 8 (0)  | 5 (0)  |     |
| 仏教     | 仏教学    | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 1.0 |
|        |        | 他大学   | 1 (0)  | 1 (0)  | 1 (0)  |     |
| 哲      | 西洋哲学   | 本学    | 1 (0)  | 1 (0)  | 1 (0)  | 3.0 |
|        |        | 他大学   | 2 (0)  | 2 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 倫理学    | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 宗教学    | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
| 教育学    | 本学     | 0 (0) | 0 (0)  | 0 (0)  | —      |     |
|        | 他大学    | 0 (0) | 0 (0)  | 0 (0)  |        |     |
| 社会     | 現代社会学  | 本学    | 1 (1)  | 1 (1)  | 1 (1)  | 1.0 |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 文化人類学  | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
| 史      | 国史学    | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 日本仏教史学 | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 東洋史学   | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
| 東洋仏教史学 | 本学     | 0 (0) | 0 (0)  | 0 (0)  | —      |     |
|        | 他大学    | 0 (0) | 0 (0)  | 0 (0)  |        |     |
| 文      | 国文学    | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 1 (0)  | 1 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 中国文学   | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | —   |
|        |        | 他大学   | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  |     |
|        | 英文学    | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 1.3 |
|        |        | 他大学   | 5 (2)  | 4 (2)  | 3 (2)  |     |
| ドイツ文学  | 本学     | 0 (0) | 0 (0)  | 0 (0)  | —      |     |
|        | 他大学    | 0 (0) | 0 (0)  | 0 (0)  |        |     |
| 国際文化   | 国際文化学  | 本学    | 0 (0)  | 0 (0)  | 0 (0)  | 1.0 |
|        |        | 他大学   | 5 (3)  | 4 (2)  | 4 (2)  |     |
| 合 計    |        | 本学    | 12 (3) | 12 (3) | 10 (3) | —   |
|        |        | 他大学   | 22 (5) | 20 (4) | 13 (4) |     |
|        |        | 計     | 34 (8) | 32 (7) | 23 (7) |     |

(注) ① ( ) 内数字は女子内数。 ②倍率は、受験者数を合格者数で除したものの。

### 【合格者 (他大学・専門学校出身者)】

(各1名) 京都大学・奈良教育大学・青山学院大学・亜細亜大学・関西外国語大学短期大学部  
近畿大学・東洋大学・龍谷大学

(2名) 京都経済短期大学

(3名) 京都外国語専門学校

《教員研究室一覧表》

| 博 綜 館 |           |            |
|-------|-----------|------------|
| 階     | 部屋番号      | 教員名        |
| 2F    | 211       | 佐藤 義寛      |
|       | 212       | 鈴木 繁一      |
|       | 213       | 乾 源俊       |
|       | 214       | A.デッケ=コルニル |
|       | 215       | 友田 孝興      |
|       | 216       | 石橋 義秀      |
|       | 217       | 沙加戸 弘      |
|       | 218       | 村瀬 順子      |
|       | 219       | 宮川 清司      |
|       | 220       | 國中 治       |
|       | 221       | 古川 哲史      |
| 3F    | 311       | 鄭 早苗       |
|       | 312       | 草野 顕之      |
|       | 313       | 皇 紀夫       |
|       | 314       | 加藤 尚子      |
|       | 315       | 豊島 修       |
|       | 316       | 長谷 正當      |
|       | 317       | 田辺 繁治      |
|       | 318       | 桂 華淳       |
|       | 319       | 木場 明志      |
|       | 320       | 佐々木 令信     |
|       | 321       | 築山 修道      |
| 322   | 西田 潤一     |            |
| 323   | 中桐 伸吾     |            |
| 324   | 大内 文雄     |            |
| 325   | 中森 一郎     |            |
| 326   | 礪波 護      |            |
| 327   | 並木 治      |            |
| 4F    | 411       | 松村 尚子      |
|       | 412       | 矢野 のり子     |
|       | 413       | 安井 喜行      |
|       | 414       | 高井 康弘      |
|       | 415       | 門脇 健       |
|       | 416       | 山下 憲昭      |
|       | 417       | 渡辺 啓真      |
|       | 418       | 池上 哲司      |
|       | 419       | 朴 一功       |
|       | 420       | 滝口 直子      |
|       | 421       | 番場 寛       |
| 441   | 寺林 脩      |            |
| 442   | 佐賀枝 夏文    |            |
| 5F    | 511       | 宮下 晴輝      |
|       | 512       | 安富 信哉      |
|       | 513       | 兵藤 一夫      |
|       | 514       | M. A. ベーテ  |
|       | 515       | 延塚 知道      |
|       | 516       | 小谷 信千代     |
|       | 517       | 木村 宣彰      |
|       | 518       | 山野 俊郎      |
|       | 519       | 白館 戒雲      |
|       | 520       | 福田 洋一      |
|       | 521       | D. ヴェステル   |
| 541   |           |            |
| 542   | 藤 嶽 明信    |            |
| 543   | R. F. コーズ |            |
| 544   | 泉 恵機      |            |
| 545   | 織 田 顕祐    |            |

| 聞 思 館 |        |         |
|-------|--------|---------|
| 階     | 部屋番号   | 教員名     |
| 1F    | 10     | 藤 枝 真   |
|       | 11     | 廣 川 智貴  |
|       | 12     | 宮 崎 健司  |
|       | 13     | 藤 谷 昌紀  |
|       | 14     | 加 来 雄之  |
|       | 15     | 村 山 保史  |
|       | 16     | 村 松 法文  |
|       | 17     | 大 城 邦義  |
|       | 18     | 一 楽 真   |
|       | 19     | 木 越 康   |
|       | 20     | 天 野 勝重  |
| 2F    | 21     | 射 場 美恵子 |
|       | 22     | 森 崎 礼子  |
|       | 23     | 柴 田 みゆき |
|       | 24     | 喜 多 恵美子 |
|       | 25     | 水 島 見一  |
|       | 26     | 三 宅 伸一郎 |
|       | 27     | 赤 瀬 知子  |
|       | 28     | 古 屋 哲   |
|       | 29     | 李 青     |
|       | 30     | 片 岡 裕   |
|       | 31     | 井 上 摩紀  |
| 32    | 徳 岡 博巳 |         |
| 3F    | 40     | 藤 元 雅文  |
|       | 41     | 阿 部 利洋  |
|       | 42     | 山 内 清郎  |
|       | 43     | 新 美 秀和  |
|       | 44     | 酒 井 恵光  |
|       | 45     | 加 治 洋一  |
|       | 46     | 関 口 敏美  |
|       | 47     | 渡 部 洋   |
|       | 48     | 大 秦 一浩  |
|       | 49     | 廣 瀬 幸市  |
|       | 50     | 谷 口 奈青理 |
| 51    | 山 本 和彦 |         |
| 52    | 采 翠 晃  |         |
| 4F    | 60     | 箕 浦 暁雄  |
|       | 61     | 東 館 紹見  |
|       | 62     | 平 野 寿則  |
|       | 63     | 三 木 彰円  |
|       | 64     | 山 田 恵文  |
|       | 65     | 浅 若 裕彦  |
|       | 66     | 芦 津 かおり |
|       | 67     | 井 上 尚実  |
|       | 68     | 浦 山 あゆみ |
|       | 69     | 浅 見 直一郎 |
|       | 70     | 志 藤 修史  |
| 71    | 山 本 貴子 |         |
| 72    | 松 川 節  |         |

| 2 号 館 |      |         |
|-------|------|---------|
| 階     | 部屋番号 | 教員名     |
| 1F    | 101  | 一 色 順心  |
|       | 102  | 中 川 皓三郎 |
|       | 103  | 藤 本 芳則  |
|       | 104  | 藤 田 昭彦  |
| 3F    | 106  | 豊 住 征子  |
| BF    | 107  | 太 田 智子  |

「大谷大学広報07ー夏」発行のお知らせ

「大谷大学広報07ー夏」の発行を7月に予定しています。さまざまなエッセイや連絡事項などを掲載する予定です。ぜひお読みください。広報は次の場所に置いてありますので、ご自由にお取りください。

- ①博綜館ピロティ（博綜館入口横） ②学内食堂 ③各研究室
- ④至誠館（学生課カウンター前） ⑤1号館1階 ⑥2号館1階

また、大谷大学ホームページから、バックナンバーを含め広報の閲覧が可能です。  
[http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d\\_kouhou.html](http://www.otani.ac.jp/annai/shuppan/d_kouhou.html)

マンガ・アニメに熱い視線が注がれている。

この視線には、「マンガ大好き・アニメファン」のそれとあわせて、大学でマンガ学部を設立する動きや烏丸御池に開館した京都国際マンガミュージアムへの文化庁長官視察、そして「マンガは世界に誇る日本文化である」と謳いあげる文化論的テーマまで含まれている。

マンガやアニメが制度的・象徴的に「正統」の地位を与えられていく現象がつい最近のものであることは、次の2冊を手にとってみても明らかだ。たとえば『花咲く乙女たちのキンピラゴボウ』（橋本治、1979

年）では「今日マンガが多くの人々によって、マンガ・略画・ポンチ絵と一括され、(…)軽んじられバカにされ貶められている理由は、それは偏<sup>ひとえ</sup>にマンガが現実を直視していないためである」と書かれている。それが『萌え萌えジャパン』（堀田純司、2005年）になると、マンガ・アニメの虚構への傾倒は「特定のキャラクターに関する不十分な情報を個人的に補う行為」という観点から「虚構と実在との狭間、想像と現実の境界で自覚的にたゆたう行為」と表現されるようになった。このような分析を差し出され、養老孟司氏に「マンガは脳機能を活性化する」と言われ

ると、思わず本棚に駆け寄り、マンガ本を探してしまったりするのである。たしかに「マンガ日本史」で勉強した世代のひとりとして、マンガの実効力を認めるにやぶさかではない。

その一方で、マンガ・アニメを正統化する流れをよく見てみると、擁護する立場には多少の違いがあることにも気づかされる。それは「北斎、若冲から鳥獣戯画まで系譜を辿ることのできる、日本美術に伝統的な手法として見直せる」とする立場と、「現在、世界市場の6割ものシェアを占める、国際競争力のあるビジネスとして保護しよう」という立場で

## 話題の広場 SQUARE

### マンガ、アニメ、日本文化

阿部 利洋



絵 内山智廣

ある。(後者の立場は知財立国戦略の下で、いまや政策指針となっている)。

また、マンガ・アニメが日本文化として取り上げられる場合、そのカテゴリでくくられる対象を列挙してみると、先述の絵巻物や浮世絵のみならず、風刺画、紙芝居、子ども向け絵本、少年・少女マンガ、成人マンガ、莫大な制作費が投じられるアニメーション映画まで実に幅広い。「ふきだし」がなくてもマンガなのか、絵本とマンガは同じジャンルなのだろうか、などという疑問も頭をかすめたりするのだが、実際、絵本売り場に立ってみると、マンガやアニメのキャラクターが下地になっているような画風の絵本が見つかって、必ずしも線引きは容易でない。マンガ・アニメに熱い視線が注がれ

るとき線引きは結構ゆるやかであり、そこにこのカテゴリーの特徴がありそうだ。

こうしてみると、マンガ・アニメを正統化する動きは、これまで「軽んじ」ていた何を、どのような理由で正統とみなすことにしたのか、やや曖昧なところに成立している現象であると言えるかもしれない。むしろ、市場規模や対外競争力といった点から日本文化としての位置づけが高められている点に注目すべきなのだろう。

ところで、筆者が学部学生の頃、卒論執筆を控えた上回生が「ドキュメンタリー映像を卒論として提出してよいか」と質問し、指導教授にこんこんと論されていたことを思い出す。その後、筆者その他の学生が「卒論をマンガで提出することは認

められるのか」と質問し、一喝された。しかし、昨今の時代の変化を振り返るにつけ、将来「マンガでかかれた萌える論文」を査読したり、他大学の「マンガ社会学コース」と競合したりする状況が訪れやしないだろうか、と一抹の不安(と期待)を覚えるのである。「いやあ、マンガの世界の話だね」というオチが通用しなくなるかもしれない。ひとまずは、従来ドイツでマンガ・アニメがあまり普及しなかった理由として説明されるもの、すなわち「表現においては同一記号を採用すべきである」(!)を主張しておくのが教員らしい姿勢だろうか。何だかマンガにされてしまいそうで、悩ましい。

(あべ としひろ)  
専任講師 社会学